


掛川市海岸線 地域ビジョン

A person is running on a beach, seen from behind, towards the ocean. The person is wearing a white t-shirt and a dark skirt. The beach is wet, and the person's shadow is cast on the sand. The ocean has white-capped waves, and the sky is a clear, bright blue.

広大な海浜と潮騒の杜に抱かれた
「希望と活力にあふれる
新産業レクリエーションエリア」

・ もくじ ・

| | |
|---------------------------------------|----|
| 1 掛川市の海岸線地域の現状・位置づけ | 1 |
| 掛川市の海岸線地域の現状 | 1 |
| 策定の背景・目的 | 3 |
| ビジョンの位置づけ | 3 |
| 静岡県立自然公園の指定 | 4 |
| 1 御前崎遠州灘県立自然公園 | 4 |
| 各種計画における位置づけ | 5 |
| 1 第2次掛川市国土利用計画 | 5 |
| 2 掛川市都市計画マスタープラン | 6 |
| 3 掛川市観光振興計画 | 8 |
| 4 掛川市景観計画 | 9 |
| 5 掛川市公共施設等総合管理計画 | 10 |
| | |
| 2 掛川市海岸線に広がる魅力的な地域資源 | 11 |
| 地域資源マップ | 11 |
| 主要施設の現状・方向性・課題等 | 13 |
| 1 海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」 | 13 |
| 2 大東温泉シートピア | 16 |
| 3 太平洋岸自転車道 | 17 |
| 4 アクティビティ | 18 |
| 5 生産工場等 | 25 |
| 6 再生可能エネルギー施設 | 26 |
| 7 農業観光施設 | 28 |
| 8 文化財・遺構 | 30 |
| | |
| 3 掛川市海岸線地域ビジョン | 31 |
| 掛川市海岸線地域の将来像と3つの柱 | 31 |
| 3つの柱の方針 | 31 |
| 柱ごとの取組み一覧 | 32 |

・ もくじ ・

3 掛川市海岸線地域ビジョン（つづき）

柱ごとの取組みの方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

1 海岸線を 活かし、魅了する

《人を魅了する雄大な海浜と潮騒の杜のグリーンベルトの活用》

- 1 遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション・・・・・・・・ 33
- 2 遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出・・・・・・・・ 35
- 3 美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む・・・・ 38
- 4 正確な情報と森の防潮堤「掛川潮騒の杜」で不安を払拭・・・・ 40

2 海岸線で 楽しむ

《スポーツ・レクリエーションのメッカとしての拠点づくり》

- 1 海岸エリアのシンボル「シートピア」の民間活力による再生・・・・ 41
- 2 日本を代表するサイクリングロードの整備・活用・・・・・・・・ 45
- 3 掛川潮騒の杜のレクリエーション化・・・・・・・・ 46
- 4 日本のマリンスポーツのメッカへ・・・・・・・・ 48
- 5 多彩なスポーツ施設のリニューアルと有効活用・・・・・・・・ 50

3 海岸線で 働き、生み出す

《地域特性を活かしたエネルギー・産業・農業の振興》

- 1 太陽光・風力などの再生可能エネルギーの利活用の促進・・・・ 51
- 2 地域循環共生圏における再生可能エネルギーの供給拠点化・・・・ 54
- 3 将来を担う産業集積エリアの継続と発展・・・・・・・・ 55
- 4 地域特性を活かした農業振興・・・・・・・・ 57
- 5 多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域・・・・ 58

ビジョンの取組みの推進に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・ 61

4 資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 62

20年後の未来を担う子どもたちのアイデア・・・・・・・・ 62

掛川市海岸線地域ビジョン策定経過・・・・・・・・ 63

掛川市海岸線地域ビジョン庁内検討会 名簿・・・・・・・・ 64

I 掛川市の海岸線地域の現状・位置づけ

掛川市の海岸線地域の現状

- 掛川市は、白砂青松、風光明媚な総延長約10kmの海岸線を有しています。
この海岸線地域は、産業面においては、海岸砂地畑などの特徴的な農地が広がり、多くの企業が立地するなど、農工業を中心とした産業が盛んとなっています。
- 近年は、自然エネルギーの活用が進み、大規模な太陽光発電施設や風力発電施設の立地も進んでいます。
- 海岸線一帯は御前崎遠州灘県立自然公園に指定され、サーフィンや釣りなどのマリンレジャーや太平洋岸自転車道でサイクリングなどを楽しむ方も多くいらっしゃいます。
特に、菊川河口周辺は、大東総合運動場、大東温泉シートピア、大東マリーナなどの施設が集中立地しており、掛川市南部における、観光、レクリエーションの拠点となっています。
- 一方で、平成23年に起こった東日本大震災では死者行方不明者が1万8千人を超え、その9割が津波によるものであったため、沿岸部における津波リスクが再認識されることとなりました。
- 全国的に沿岸部の津波リスクが再認識される中、静岡県でも沿岸部の人口減少や事業所の転出が進んだほか、掛川市の海岸線地域でも太陽光発電施設や風力発電施設の立地は進んだものの、工場や住宅の新たな立地はほとんどみられない状況となっています。
- 掛川市の海岸線地域は、南遠大砂丘が形成されていることから、静岡県の地震被害想定において、概ね数十年から百数十年に一度発生するレベル1クラスの地震の津波浸水域は南遠大砂丘以南に止まります。発生頻度は極めて低いですが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスのレベル2の津波では、国道150号線以南と菊川及び弁財天川河口付近などで浸水被害が想定されています。
- このようなことから、掛川市では、国、県とも協力しながら、海岸防災林強化事業を展開し、次代を担う若者や子どもたちが集う「掛川潮騒の杜」づくりを進め、あわせて、様々なソフト対策や啓発なども行い、地震津波による死亡者ゼロを目指しています。



静岡県津波浸水想定（掛川潮騒の杜完成前）

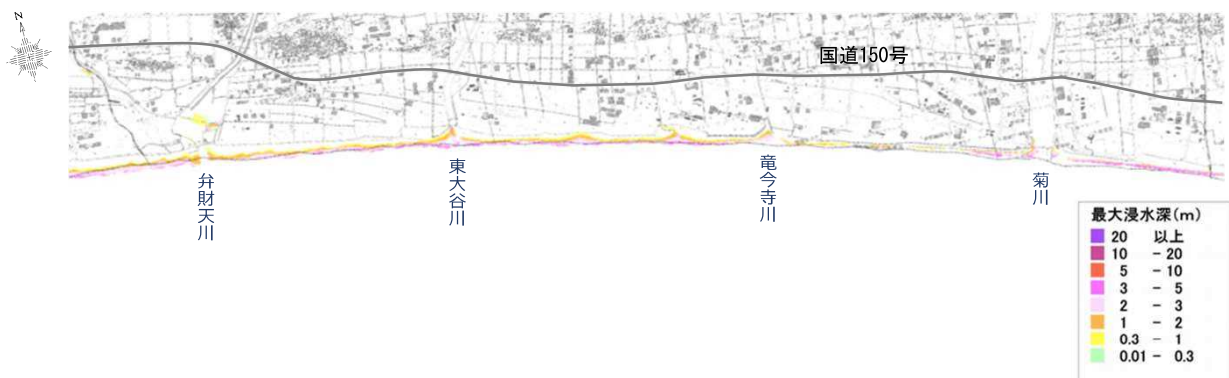
津波浸水想定について

レベル1：数十年から百数十年に一度の頻度で発生すると想定される津波

レベル2：数百年から千年に一度の頻度で発生すると想定される津波

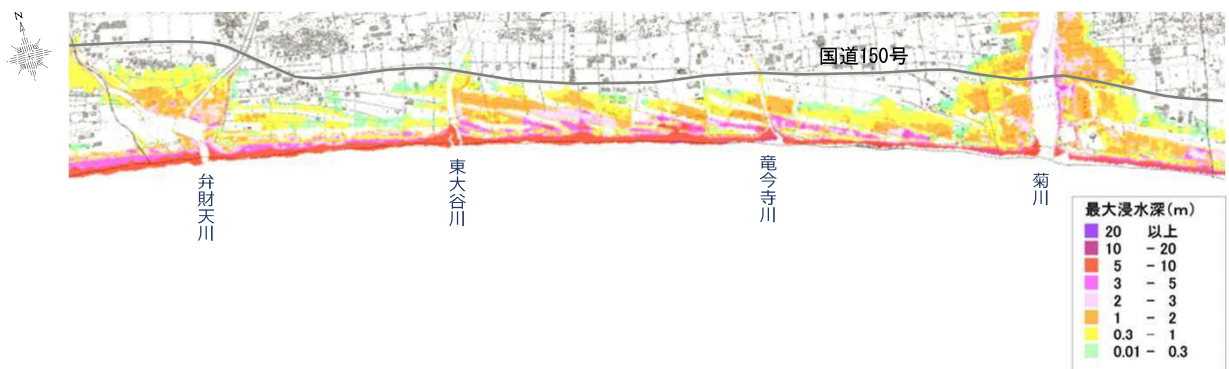
レベル1 の津波浸水想定

静岡県がこれまで地震被害想定の対象としてきた東海地震のように、発生頻度が比較的高く、発生すれば大きな被害をもたらす地震・津波が発生した際の浸水想定図は以下のようになっており、南遠大砂丘により津波浸水域は海岸付近に限られています。



レベル2 の津波浸水想定

内閣府により示された南海トラフ巨大地震のように、発生頻度は極めて低いが、発生すれば甚大な被害をもたらす、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震・津波が発生した際の浸水想定図は以下のようになっており、概ね国道150号線以南と菊川及び弁財天川河口付近などで浸水被害が想定されています。

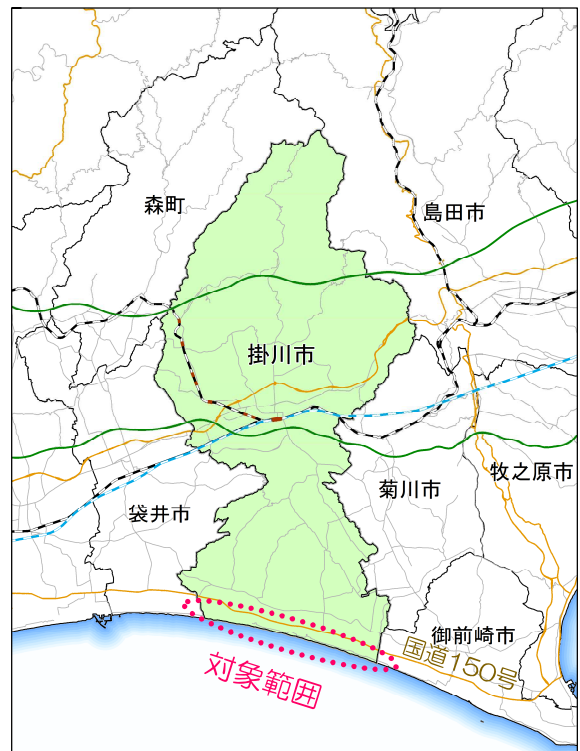


掛川市の海岸線地域を夢のあるエリアへ

- 東日本大震災以降、津波の被害が想定される海岸線地域は、全国的にマイナスイメージが先行していますが、掛川市を含めた多くの自治体でハード、ソフト両面の対策が進展しており、負のイメージの払拭が求められています。
- 掛川市の海岸線で進められている「掛川潮騒の杜」は、完成後には、想定しうる最大クラスの津波を防ぎ、市民が憩い楽しむ「杜」となります。
- 掛川市の海岸線地域は、人を魅了する遠州灘や南遠大砂丘、多くの事業所が立地する産業集積、特徴的な砂地農業、様々なスポーツ施設やシートピアの存在など、総合的に高いポテンシャルがあります。
- そこで、改めて、掛川市の海岸線地域の地域資源や魅力について整理し、多くの方々に掛川市の海岸線地域が持つ高いポテンシャルを認識してもらうとともに、将来に向け明るいビジョンを示す必要があります。
- このビジョンは、掛川市の海岸線地域が再び注目され、観光客を引きつけ、投資を呼び込むエリアとなり、もって、掛川市全体の発展につなげていくものです。

ビジョンの位置づけ

- ビジョンは、約20年後を見据えて策定しています。
- ビジョンの対象範囲は、右図のとおり、概ね国道150号の南側としますが、掛川市には多くの地域・人的資源がありますので、これら資源と連携して取組みを進めます。
- ビジョンにより、海岸線のイメージがより向上するきっかけになるとともに、産業界、民間団体、研究機関等、多くの皆さんにこの地域に関心をもってもらい、議論や連携、具体的な取組みが進むことを期待しています。そのため、今ある地域資源を大切に取組みに加え、より広く20年後を見据えた内容としています。



1 御前崎遠州灘県立自然公園

遠州灘海岸線は、御前崎遠州灘県立自然公園に指定されており、県の風景を代表する優れた自然の風景地として保護することが位置づけられています。

このため、工作物や建築物等の建築などを行う際は、静岡県の許可等が必要となります。

(1) 御前崎遠州灘県立自然公園の概要

| | |
|-----|--|
| 指定日 | 昭和43年12月20日 (再検討：昭和55年4月3日 点検：平成22年4月13日) |
| 面積 | 1,628.8ha |

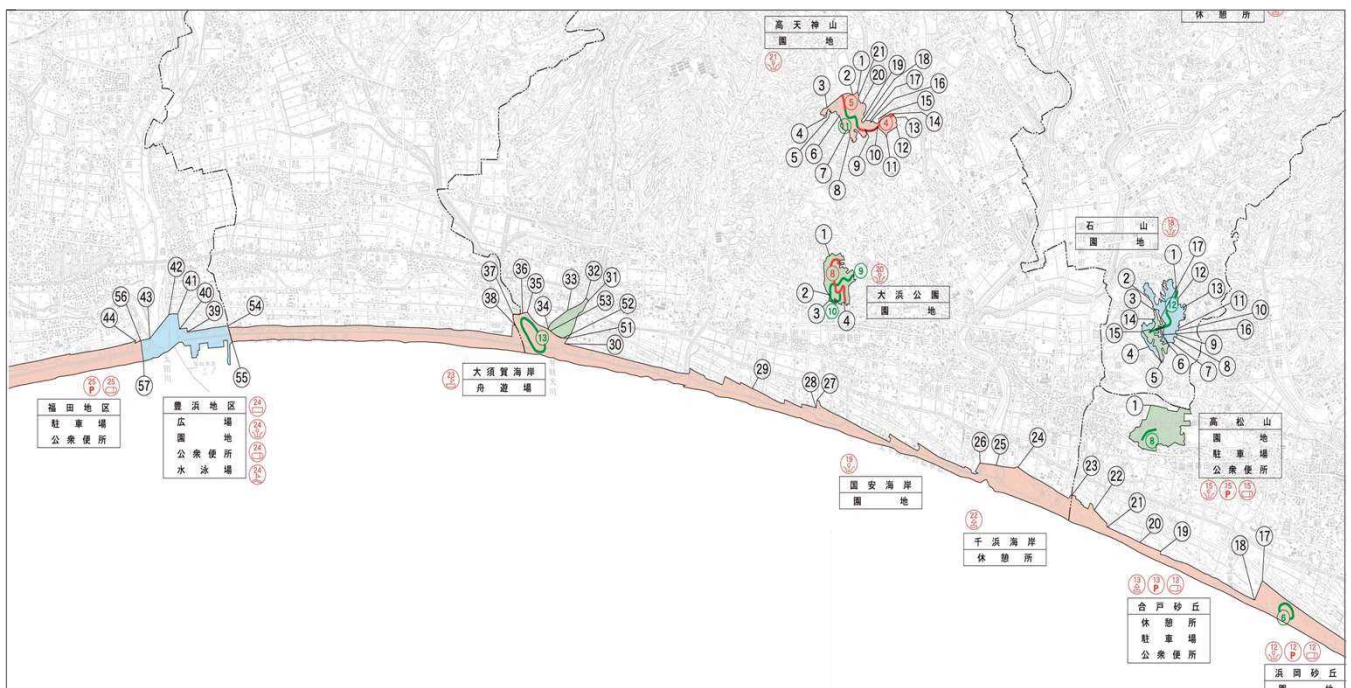
(2) 指定動植物

掛川市の遠州灘海岸線は、県立自然公園のなかでも第2種特別地域に分類されており、農林漁業活動について務めて調整を図ることが必要な地域として、捕獲・採集に許可が必要な動植物が指定されています。

■ 指定動植物

| | |
|----|--------------------------------|
| 動物 | カジカガエル、ニホンアカガエル、アカウミガメ (全3科3種) |
| 植物 | ハマボウ、アカウキクサ、ルリミノキ 等 (全64科166種) |

御前崎遠州灘県立自然公園区域及び公園計画図 (一部抜粋)



出典：静岡県 ホームページ

1 第2次掛川市国土利用計画【平成30年2月】

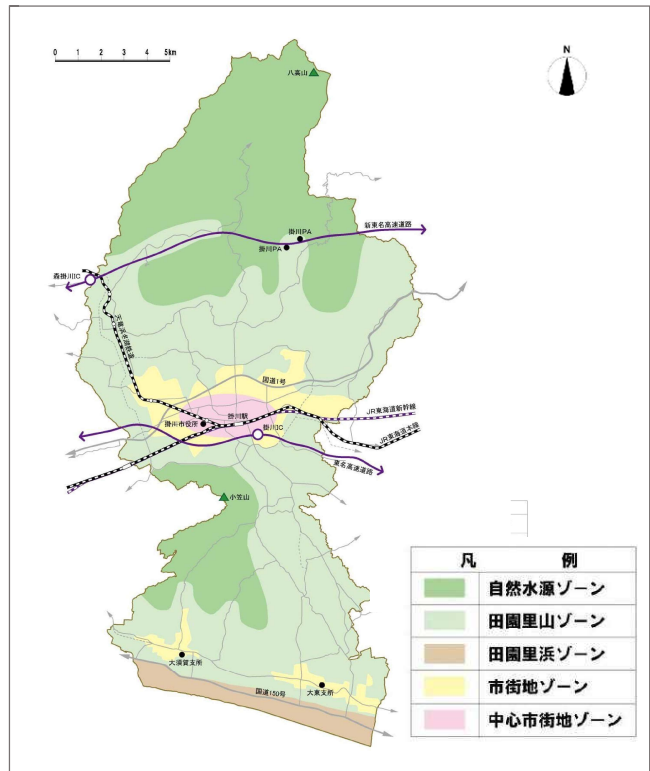
海岸線に関連する取組を抽出して整理します。

(1) 田園里浜ゾーンの土地利用の基本方向

遠州灘海岸周辺部一帯は、産業との調和や海岸地帯の有効活用を目指す「田園里浜ゾーン」として位置づけます。

市民の生命や身体、地域の財産を守るため、津波や高潮、強風などに対する防災・減災機能の強化を図るとともに、砂地農業をはじめとした特色ある農地や遠州灘海岸の豊かな自然環境を保全しつつ、レクリエーションや産業活動に活用を図り、多様な環境がバランス良く調和した土地利用に努めます。

地域類型：田園里浜ゾーン



■ 土地利用の基本方向

(2) 田園里浜ゾーンの整備施策の概要

① 施策の方針

農地及び集落地については、農地と集落が調和した良好な関係の維持を基本とし、農地の流動化、計画的な農業生産基盤整備などにより、優良農地の保全と集落地における生活基盤の維持及び整備を推進します。また、観光農園などの付加価値の高い農業の振興を図るとともに、レクリエーションや産業活動などの新たな土地活用を含めた適正な土地利用の誘導を図ります。

遠州灘海岸については、海と砂浜、海岸林からなる良好な自然環境や景観を保全するとともに、「掛川モデル」の整備による津波に対する安全度の向上を推進し、自然とのふれあいの場、憩いの場として活用を進めます。

また、地域住民主体のまちづくり事業を積極的に支援します。

② 主な個別施策

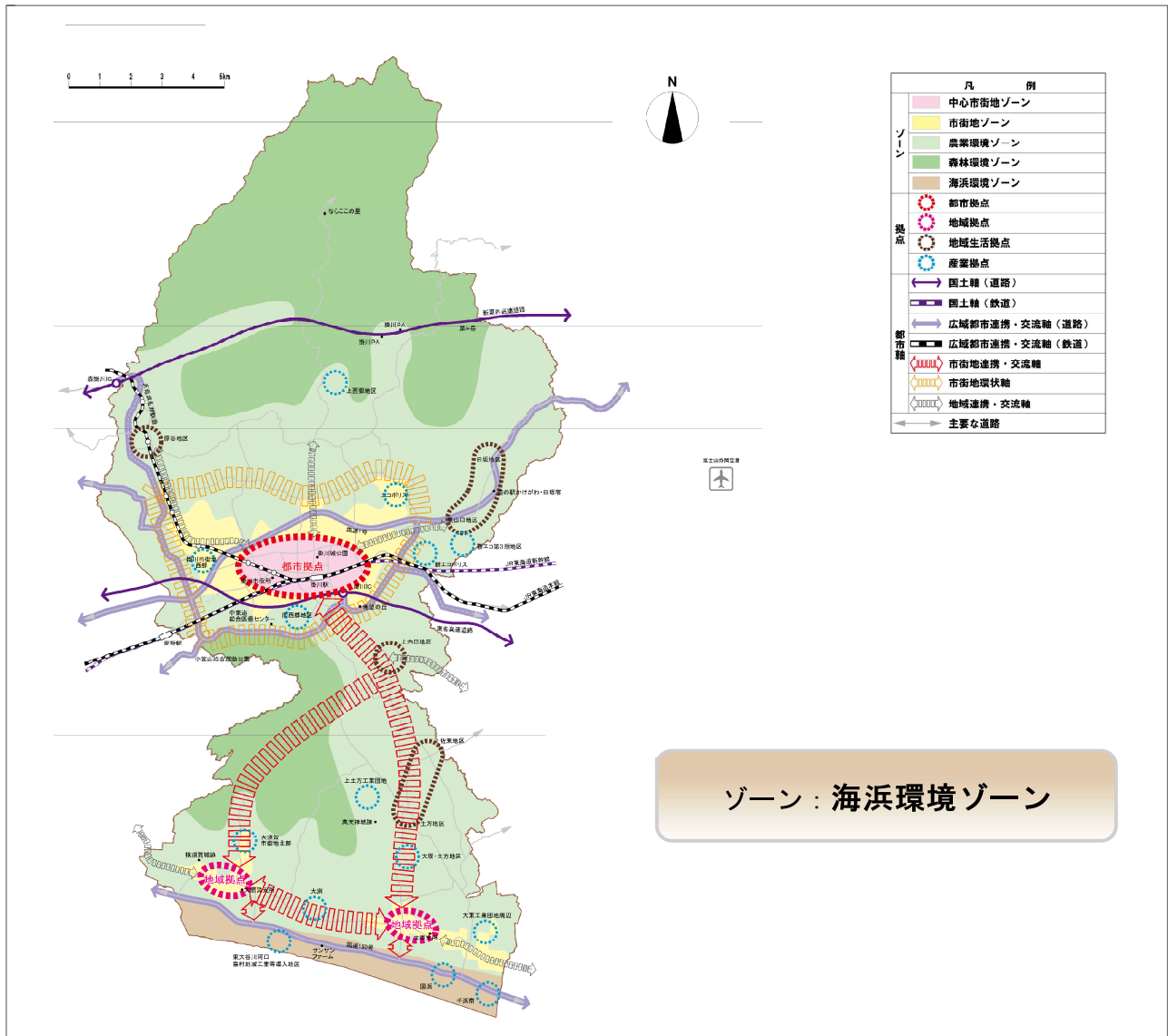
- 「掛川モデル」として海岸防災林をレベル2津波に対応した高さに嵩上げし、地震発生時には津波防御の機能を発揮させ、平時にはサイクリングや森林散策、様々なレクリエーションなどに利用する、人々が集い交流の場となる「掛川潮騒の杜」づくりを推進します。
- 御前崎遠州灘県立自然公園に指定されている遠州灘海岸一帯の浸食対策等に取り組むとともに、市民が主体となった保全・美化活動を積極的に支援します。

2 掛川市都市計画マスタープラン【平成30年3月】

全体構想編

(1) ゾーンの位置づけ

御前崎遠州灘県立自然公園に指定されている遠州灘海岸一帯を「海浜環境ゾーン」に位置づけます。



ゾーン：海浜環境ゾーン

■ 将来都市構造図

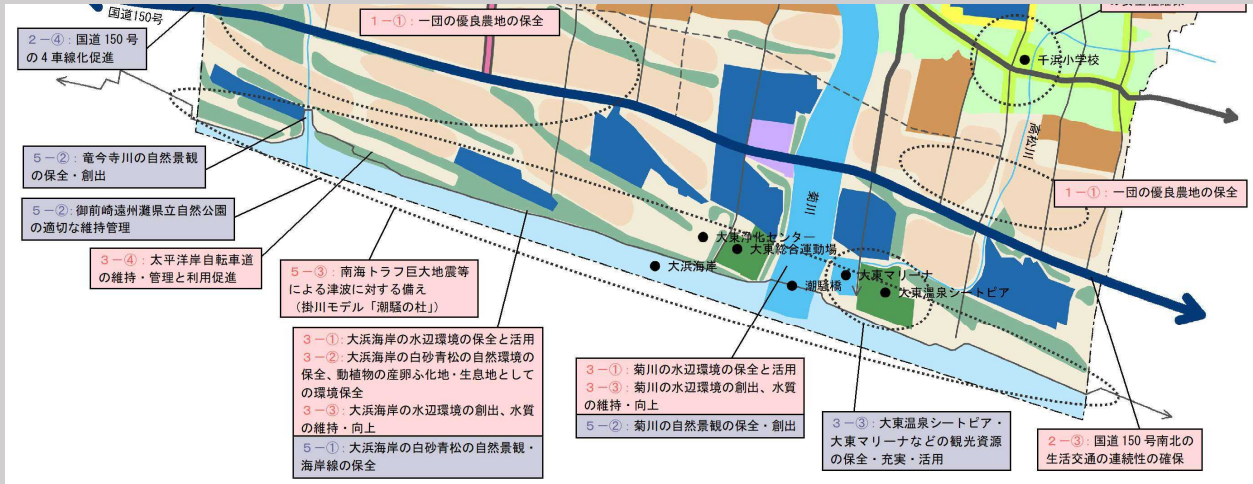
(2) 方向性

- ① 海岸防災林強化事業「掛川モデル」や「希望の森づくり事業」による「掛川潮騒の杜整備」を推進し、平時におけるシーツーズリズム・観光レクリエーションなど、自然学習・体験の場、都市住民との交流の場としての活用を図りながら、海岸付近の防災性の強化を図ります。
- ② 海・砂浜からなる海岸線の自然景観や海岸砂地畑を保全するとともに、良好な海岸を形成し、強風による飛砂の防止を担う防災林については、松くい虫防除などにより保全を図るとともに、補植等による整備を推進していきます。

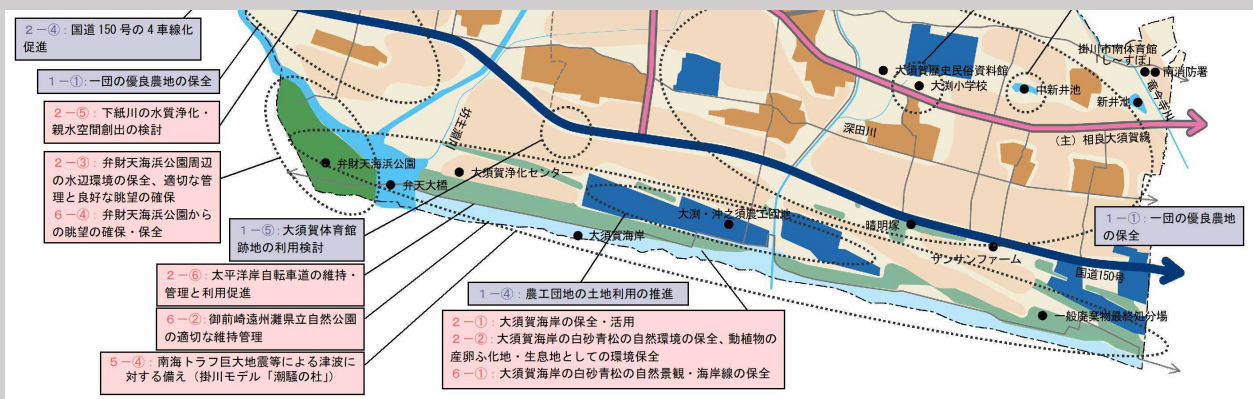
地域別構想編

(1) 将来まちづくり構想

①大浜中学校区（海岸線地域の東側）



②大須賀中学校区（海岸線地域の西側）



| 凡 例 | |
|---------------------|-------------------------|
| ■ 低密度住宅地 | ■ 広域主要幹線道路 |
| ■ 中密度住宅地 | ■ 骨格的幹線道路 |
| ■ 一般住宅地 | ■ 市街地連携、交流軸を形成する骨格的幹線道路 |
| ■ 近隣商業・業務地 | ■ 地域幹線道路 |
| ■ 工業地 | ■ 市街地連携、交流軸を形成する地域幹線道路 |
| ■ 住工複合地 | ■ その他の主要道路 |
| ■ 土地利用検討エリア(予備利用種別) | ■ 地域拠点 |
| ■ 森林環境保全地 | ■ 河川・ため池等 |
| ■ 瀬沼環境保全地 | ■ 公園・緑地等 |
| ■ 農業保全地 | ■ 一般農用地 |
| ■ 一般農用地 | ■ 既存集落地等 |
| ■ 既存集落地等 | --- 中学校区界 |

3 掛川市観光振興計画【令和元年3月】

海岸線に関連する取組を抽出して整理します。

基本方針1 | 取組(4) ② 海や山のアクティビティの推進

- ・ 海岸部では、ビーチバレーやSUP(スタンドアップパドルボード)などの全国大会の誘致や協力などマリンスポーツの拡充、山間部ではトレッキングやトレイルランなどのメッカとなるよう検討していきます。
- ・ 南部の海岸防潮堤の設置後には、サイクリングロード、朝日・夕日の景観スポットなどの設置により、サイクルスポーツの聖地化として市民や近隣の観光客が憩う場として整備を計画していきます。



基本方針2 | 取組(1) ⑤ 自転車愛好者向けのイベントやコースの充実

- ・ 中距離を移動できる自転車は、風を感じながら移り変わる景色を楽しむため、掛川市の地域資源を知るには重要な交通手段といえます。既存のサイクルイベントを拡充し、ガイドサイクリストによる紹介を交えながら地域資源の魅力を伝えていきます。
- ・ サイクリストを対象に、地域の名物グルメ店やスイーツ店を回る事ができるグルメコースを設定し、走るだけではない楽しみを提供する環境を整えます。

基本方針2 | 取組(3) ④ 観光農園の推進

- ・ いちご、キウイ、さつまいも、ぶどう、梨、干しいもづくりなど、収穫体験ができる観光農園は人気のスポットであるため、年間を通じて収穫体験できる農園や新たな農産物の収穫体験ができる農園整備を検討し、フルーツカフェやテーマパークが形成される果物等の一大産地づくりを進めます。

基本方針6 | 取組(2) ③ サイクリング環境の向上

- ・ 掛川駅でのレンタサイクルの実施を継続するとともに、他の交通結節点や主要観光施設においても周辺への周遊を促すレンタサイクルの実施を推進します。
- ・ 「バイク・フレンドリー・ステーション※」の設置に加えて、観光施設、飲食店、宿泊施設における安全な駐輪スペースの確保、自転車用ロードマップの作成などを進めます。

※バイク・フレンドリー・ステーション：公共施設や観光協会会員の協力のもと設置するサイクリストの立ち寄り所で、簡単な修理や点検ができる。

基本方針7 | 取組(1) ⑥ フィルムコミッション活動の推進による地域資源の魅力向上

- ・ 映画やテレビドラマ・アニメを通じて本市の認知度向上と、地域資源の魅力向上、さらには郷土愛の醸成を図るために、フィルムコミッション活動を推進します。

4 掛川市景観計画【平成22年10月】

海岸線に関連する取組を抽出して整理します。

(1) 海岸・河川景観ゾーンの基本方針

太田川水系、菊川水系、弁財天川水系、竜今寺川水系、東大谷川水系等の河川及び海岸とこれらに接する川沿いや海岸林等を含む区域を「海岸・河川景観ゾーン」として位置づけます。

ゾーン：海岸・河川景観ゾーン

(2) 海岸・河川景観ゾーンの景観形成方針

- ・ 海岸、河川、池沼等の水辺の周囲の良好な自然景観を保全するとともに、水辺を生かしたまち並み景観を創出します。
- ・ 橋梁上などから見える河川と後背丘陵地が調和した眺望景観、あるいは海岸と松並木と調和した海岸景観など、水辺で眺めることができる特徴的な景観の保全を図ります。
- ・ 建築物・工作物は、海岸、河川、池沼及び後背の丘陵地、周囲のまち並みと調和するよう、配置、形態、意匠等を誘導するとともに、樹木の植栽や既存樹木の保全等に努めます。
- ・ 建築物の外観を照らす照明は、過剰な光の発生や周囲の環境と調和しない光の発生を防止し、良好な夜間景観の保全に配慮します。

(3) 景観重要公共施設

浜松御前崎自転車道線のうち、潮騒橋が架かる区間を景観重要道路として指定します。

| 名称 | 区間 | 延長 (m) | 幅員 (m) | 管理者 |
|------------|-------|--------|--------|-----|
| 浜松御前崎自転車道線 | 潮騒橋区間 | 261 | 3.0 | 静岡県 |

○整備方針

- ・ 潮騒橋は優れた意匠であるとともに、周辺からの橋梁景観は特有のものであるため、その構造を維持するよう努めます。
- ・ 橋梁上からの遠州灘海原の眺望が確保できるよう努めるとともに、路面・防護柵等については、遠州灘の景観と調和するよう保全に努めます。



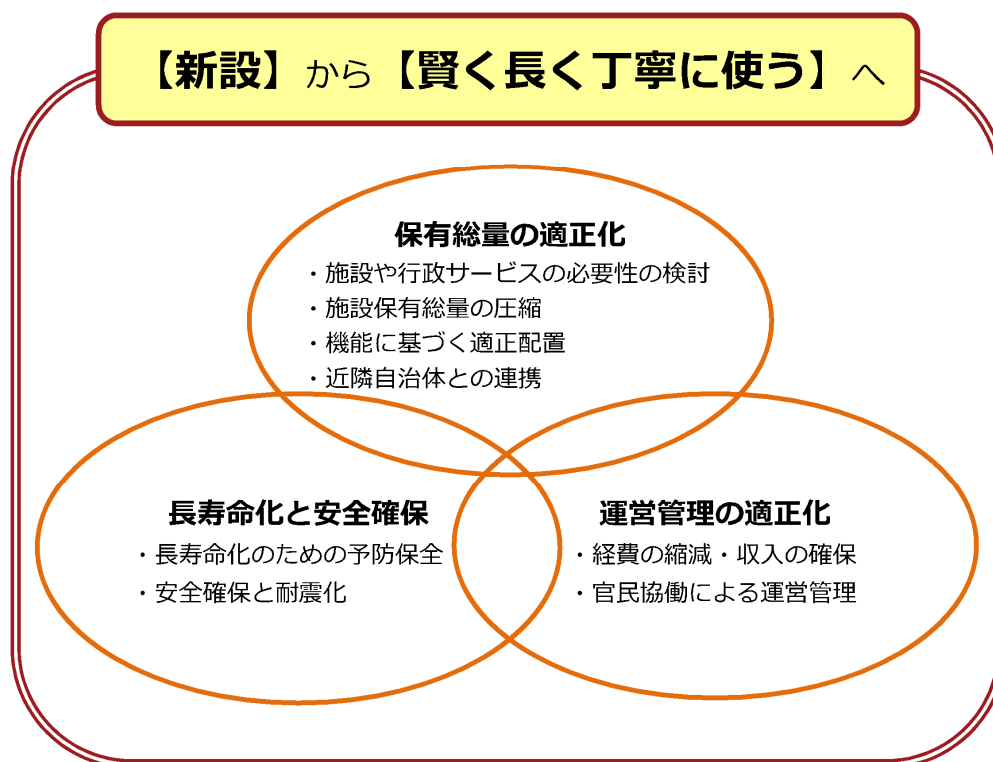
■ 景観形成の基本方針



■ 景観重要公共施設（潮騒橋）の位置

5 掛川市公共施設等総合管理計画【平成28年3月】

(1) 公共施設等の管理の方針



■ 基本方針のイメージ

(2) 建築系公共施設の管理の基本的な方針

① 保有総量の適正化

【施設・行政サービスの必要性の検討】 施設の設置目的や利用実態を踏まえ、改めて施設や行政サービスの必要性について検討していきます。

【施設保有総量の圧縮】 老朽化した施設が多くあり、財政状況を踏まえると全ての施設を更新・維持していくことは困難な状況のため、施設の統廃合や機能の集約、複合化により、保有総量を圧縮していきます。

【機能に基づく適正配置】 まちづくりの観点から全市レベル、地域レベルの公共施設の配置に考慮し、行政サービスの水準を維持・向上する方策を講じていきます。社会情勢の変化や、少子高齢化、ライフスタイルの変化を踏まえた行政サービスが提供できるよう機能の見直しと適正配置を行います。

【近隣自治体との連携】 単独で施設を保有するのではなく、近隣自治体施設の相互利用など、広域連携の可能性を検討していきます。

② 長寿命化と安全確保

【長寿命化のための予防保全】 長寿命化を図るための予防保全による施設・設備の維持管理を積極的に行い、安全性や利便性などを考慮し、施設の使用期間を定めた上で、必要な改修・修繕を計画的に実施していきます。今後建設予定の施設については、より一層の長寿命化を可能とする仕様を検討します。

【安全確保・耐震化】 点検等により危険性が認められた場合には、その後の活用方法に合わせ、安全確保に取り組んでいきます。また、災害時の拠点施設としての機能が必要な施設は耐震化を図っていきます。

③ 運営管理の適正化

【経費の縮減・収入の確保】 光熱水費、管理委託費等の縮減策、包括管理委託の導入等、維持管理経費の縮減に努めます。また、受益者負担の適正化、統廃合により余剰となった資産や未利用スペース等の処分、貸付等による財源の確保を検討していきます。

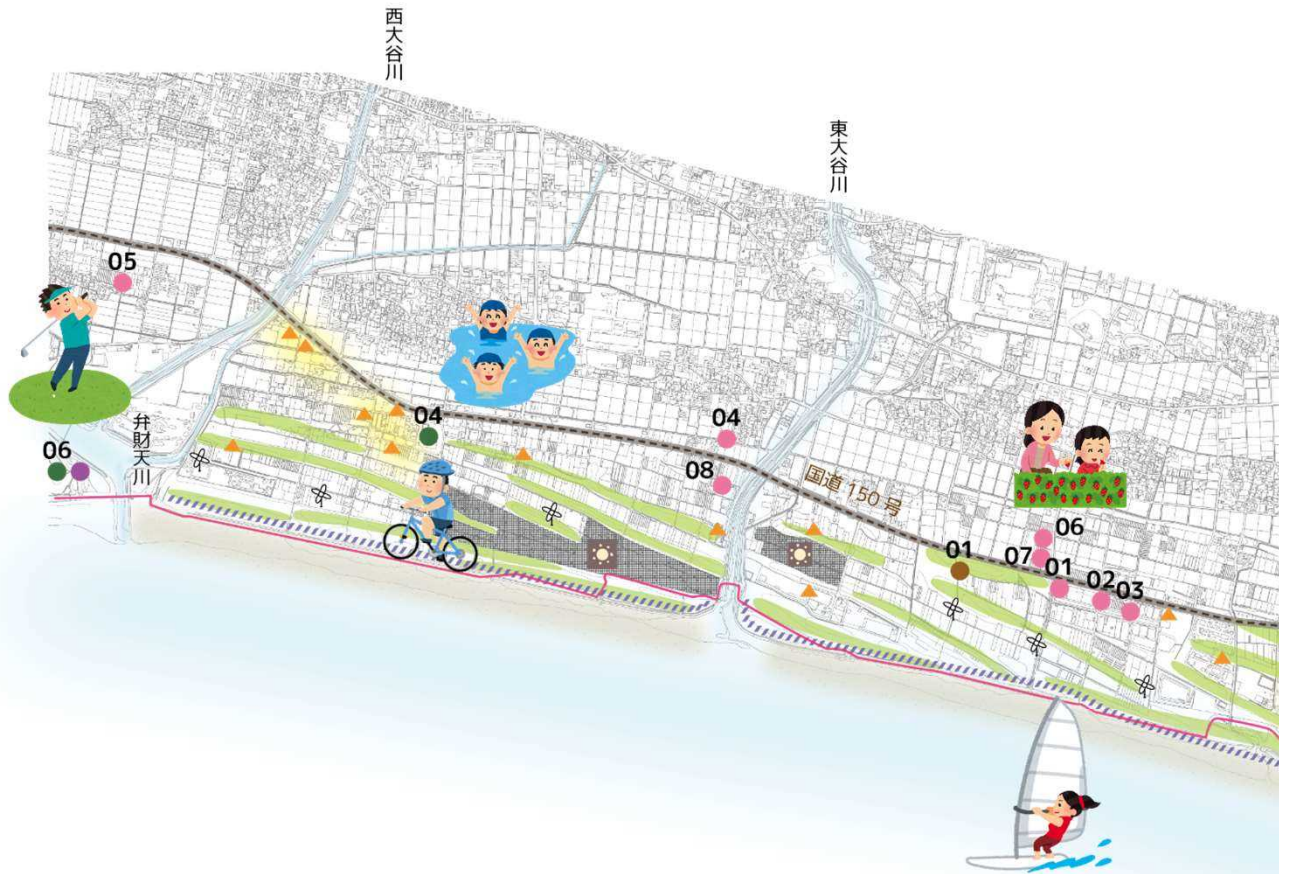
【官民協働による運営管理】 効果的な維持管理を図るため、公共施設の利用者や、地域、市民との協働による運営管理など、新しい官民協働の仕組みを検討していきます。また、指定管理者制度、PFI等を積極的に取り入れ、民間の技術、ノウハウ、資金等の活用を検討していきます。

2 掛川市海岸線に広がる魅力的な地域資源

掛川市海岸線に広がっている地域の魅力的な資源を整理します。

地域資源マップ

- | | | |
|---------------------|----------------------|--------------|
| ● 大東温泉シートピア | ● 農業観光施設 | ● 文化財・遺構 |
| ● 弁財天海浜公園 | 01 大須賀物産センターサンサンファーム | 01 晴明塚 |
| ● 自然・アクティビティ | 02 赤ずきんちゃんのおもしろ農園 | 02 旧陸軍 遠江射場跡 |
| 01 大東総合運動場 | 03 いちごのピーターパンハウス | |
| 02 ビーチスポーツ公園 | 04 金ちゃん農園 | |
| 03 大東B&G海洋センター艇庫 | 05 萩原農園 | |
| 04 大須賀B&G海洋センター プール | 06 鈴木農園 | |
| 05 大東マリーナ | 07 中山農園 | |
| 06 オーシャンゴルフクラブ | 08 金原農園 | |



1 海岸防災林強化事業「掛川潮騒の杜」

掛川潮騒の杜は、掛川市が市民・企業と一体となって行う、南海トラフ地震に対する防潮堤としてのクロマツ・広葉樹の植栽事業で、平成26年度から事業を実施しています。将来的には、浜名湖今切口から千浜東まで約40kmにわたる広大なグリーンベルトとなります。

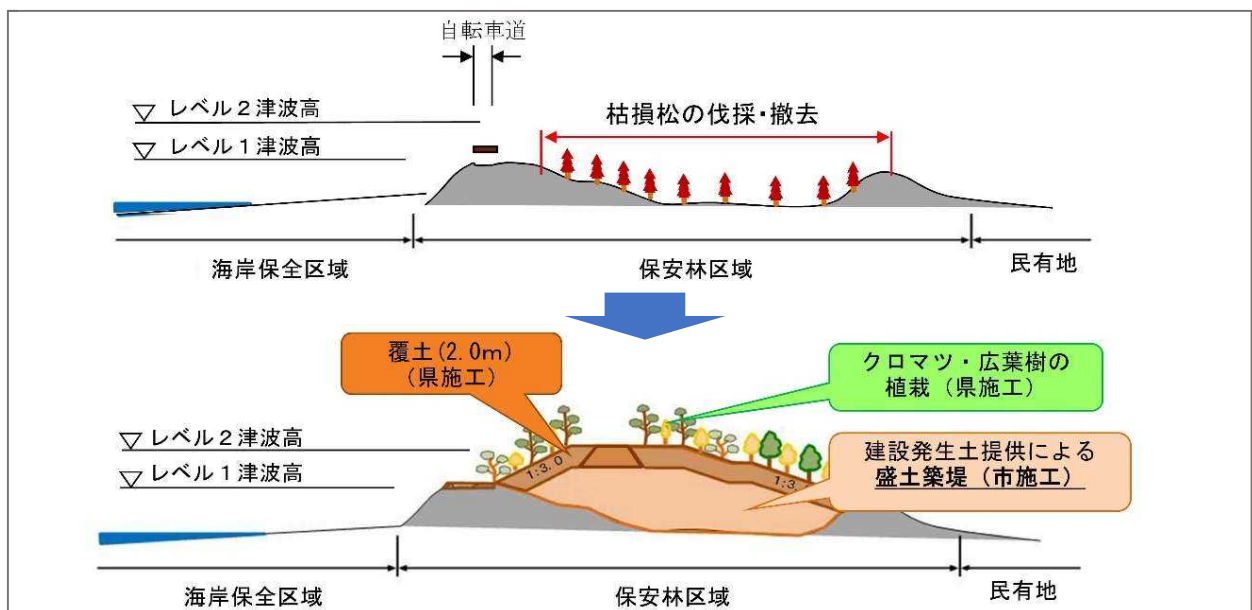


(1) 計画の概要

◇ 基本方針

| | |
|--|---|
| <p>安全 ^{もり} 杜で守る</p> <p>～自然災害から生活を守る杜を作ります～ 地域の生命、財産を守るため、津波や高潮、強風などに対する減災機能を有する海岸林を作ります。</p> | <p>協働 ^{もり} 杜を育む</p> <p>～市民・企業・行政の協働で杜を育てます～ 植樹祭や育樹祭の開催など、整備、維持管理活動を市民や企業等と協働で進めるとともに国や県との連携、協力により行います。</p> |
| <p>利活用 ^{もり} 杜に集う</p> <p>～次代を担う若者や子どもたちが集い、楽しむ杜として活用します～ 地域での暮らしにうるおいや安らぎを感じることができるよう、またイベントや学習会への参加など若者や子どもたちが集う場として活用していきます。</p> | |

| | | | |
|------|------------------------------|------|------------------|
| 計画延長 | L=9.7km (沖之須～千浜東) | 整備延長 | L=9.0km (河口部を除く) |
| 計画高 | 12.0m～16.0m (レベル2の津波高に対応) | | |



■ 計画のイメージ図

(2) 現在の状況

- ・ 掛川市が施工する砂丘造成盛土工については、令和3年度末には累積延長が4,230mとなり、全体9,000mの47%に達する見込みです。
- ・ 静岡県が施工する生育基盤盛土工については、掛川市が施工する砂丘造成盛土工の完成箇所から順次進められます。

■ 計画の進行状況

| | 年度 | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | R1 | R2 | R3~ |
|----------------|--------------------|-----|-----|-----|-------|-------|-------|-------|-------|
| 砂丘造成盛土工 | 単年(m) | 150 | 270 | 200 | 600 | 1,120 | 338 | 1,552 | 4,770 |
| 市施工延長 | 累計(m) | 150 | 420 | 620 | 1,220 | 2,340 | 2,678 | 4,230 | 9,000 |
| 進捗率 | (%) | 1.7 | 4.7 | 6.9 | 13.6 | 26.0 | 29.8 | 47.0 | 100.0 |
| 盛土量 | (万m ³) | 5.1 | 4.4 | 5.0 | 12.8 | 22.3 | 7.6 | 45.2 | 57.6 |
| 生育基盤盛土工 | 単年(m) | — | 171 | 223 | 434 | 636 | 1,072 | 901 | |
| 県施工延長 | 累計(m) | — | 171 | 394 | 828 | 1,464 | 2,536 | 3,437 | |

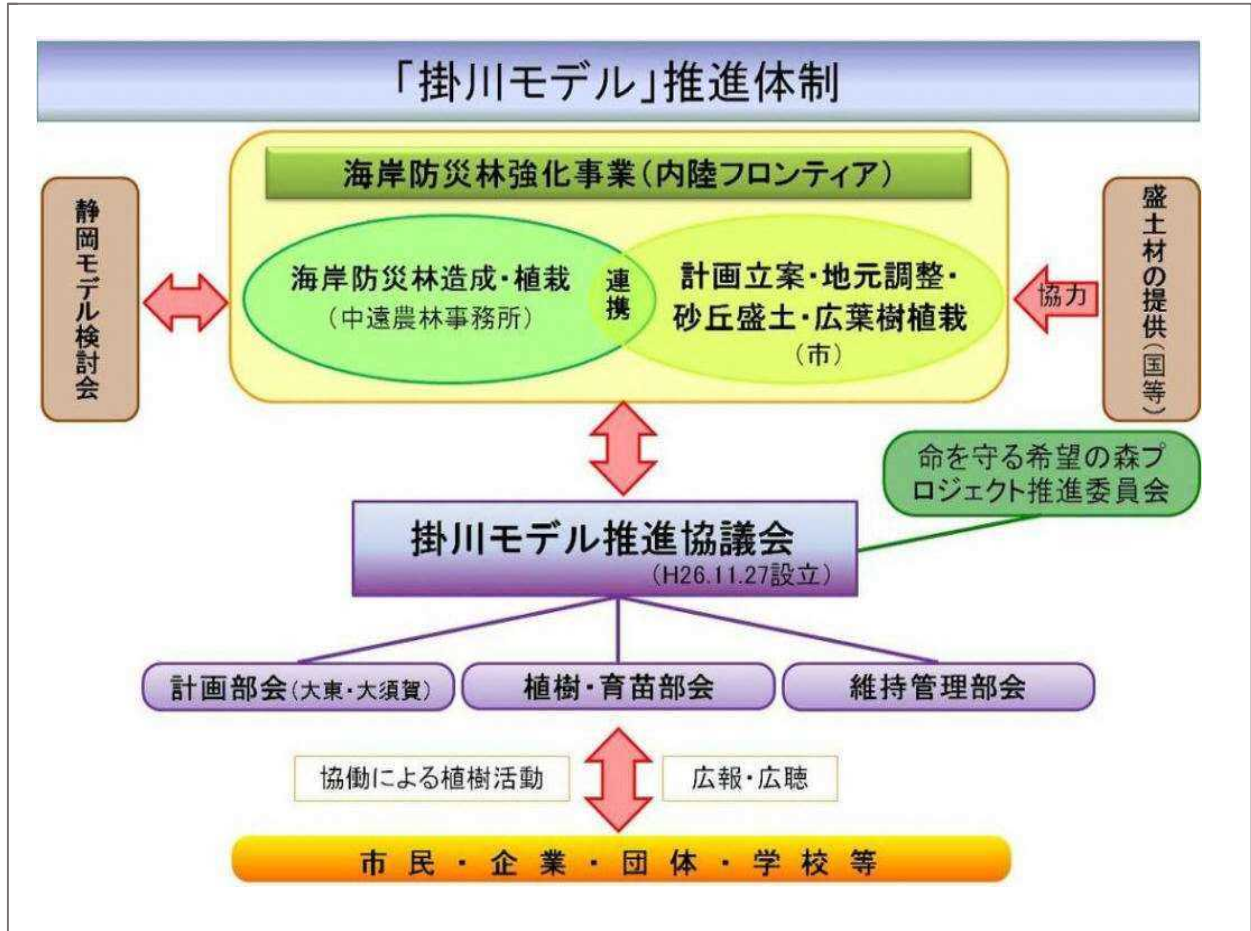


(3) 課題

- ▶ 防潮堤整備に必要な盛土材の確保（公共及び民間事業による残土）
- ▶ 防潮堤施工に支障となる民間企業の建物、風車、公共施設等との調整
 - ・ 建造物の設置、施設の移転若しくは縮小等の協議を行う
- ▶ レベル1 津波対応の国県管理河川堤防からの浸水対策
（防潮堤整備が完了しても、レベル2 津波は河川を遡上し浸水区域が残る）
- ▶ 太平洋岸自転車道の移設時期の長期化
 - ・ 現在、防潮堤工事により国道150号北側市道を迂回路として使用しているが、防潮堤完成後には天端へ移設予定（令和3年度から順次移設）

(4) 推進体制

地元関係者へ情報提供を行い、住民や企業自らが安全・安心な生活な確保するため、協働して整備促進を図ることを目的に、「掛川モデル推進協議会」を設立し、事業を推進しています。



2 大東温泉シートピア

大東温泉シートピアは、大浴場や露天風呂、泡風呂、サウナなど様々な温泉のほか、プールや食事処、休憩処、地元の特産品を購入できる物産館も備えたりゾート施設です。

年間約16万人の入館者があり、海岸線地域の一大観光拠点となっています。

公共施設の再配置（案）での位置づけ
 検討時期：I期 2019年～2028年
 方向性：譲渡を検討



(1) 施設の概要

| | |
|------|---|
| 敷地面積 | 46,342㎡ (床面積2,953㎡：温泉館2,353㎡、休憩室172㎡、物産館428㎡) |
| 開館 | 平成10年9月 |
| 温泉館 | 和・洋大浴場2カ所、露天風呂2カ所、サウナ、ジェットバス、泡風呂など各種、バーデゾーン（温水プール、子供プール）、休憩室、家族風呂 |
| 物産館 | 物産販売コーナー、ふれあい（談話）コーナー |
| 駐車場 | 201台収容 |
| 利用料金 | 大人：1日510円（中学以上） 子供：1日250円 （幼児無料 2歳児未満の入浴不可） 大人会員入会金10,280円（1日300円） 子供会員入会金7,500円（1日200円） 年間会員数103人（令和2年10月1日現在） |
| その他 | 「シートピアオートキャンプ場」オープン（平成29年6月30日） |

(2) 施設の利用状況

利用者数：平成29年度 168,903人
 平成30年度 166,463人
 令和元年度 141,824人（新型コロナウイルス感染症により3月5日より休館）

3 太平洋岸自転車道

太平洋岸自転車道は、千葉県銚子市を起点として、神奈川県、静岡県、愛知県、三重県を通過し、和歌山県和歌山市に至る延長約1,400kmの自転車道です。

掛川市の太平洋岸自転車道は、静岡県道376号浜松御前崎自転車道線となっており、全線全てが自転車・歩行者専用となっています。



■ 太平洋岸自転車道統一ロゴ

太平洋岸自転車道全体図



4 アクティビティ

4-1 大東総合運動場

大東総合運動場は、ナイター設備のある野球場やテニスコート、県内でも数少ない50mプール、グラウンドゴルフ場を有しています。夏には合宿利用者として約2,500人が訪れるなど、南部地域のスポーツ振興の拠点となっています。

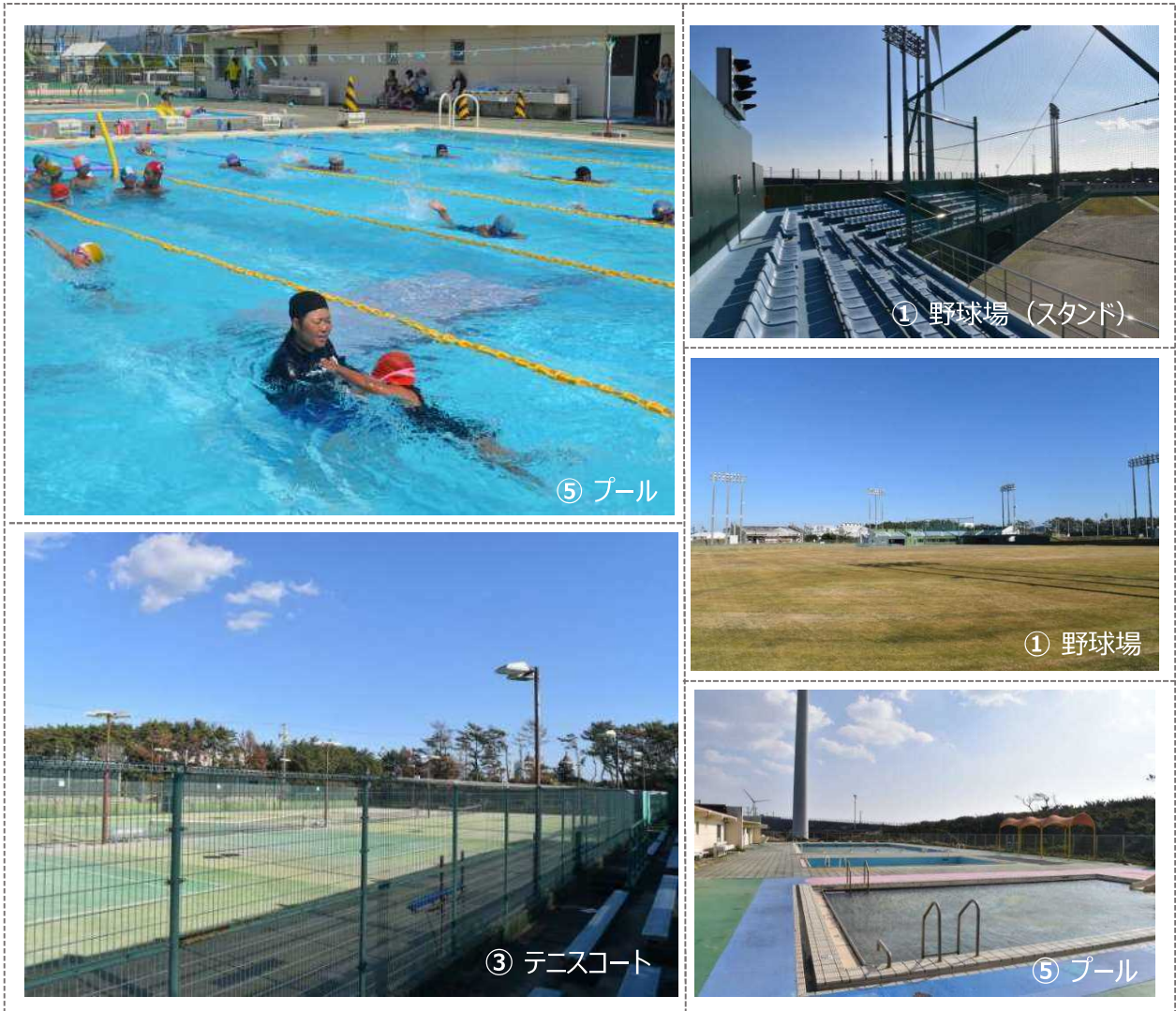


(1) 施設の概要

| | | | |
|------|---------------|-------|-------------------|
| 所在地 | 掛川市国安3300-1 他 | 総面積 | 95,626㎡ |
| 建設年度 | 昭和51年度～平成17年度 | 指定管理者 | 掛川市体協・ミズノ・鹿島建物協働体 |

■ 施設の一覧

| 施設名 | 面積 (㎡) | 施設内容 |
|--------------------|--------|--|
| ① 野球場 | 19,025 | 両翼98m、センター122m、観客席475席（背付250・長尺219・車椅子席6）、ナイター設備（24灯6基） |
| ② 多目的広場 | 12,536 | ソフトボール（2面）、サッカー（1面）、陸上競技（トラック200m/周） |
| ③ テニスコート | 2,978 | 砂入り人工芝コート（4面）、観客席 ナイター設備（1灯6基、2灯6基、4灯3基） |
| ④ グラウンドゴルフ場 | 24,000 | 天然芝コート（2面）（全32ホール・築山8箇所有り） （社）日本グラウンド・ゴルフ協会認定コース |
| ⑤ プール（屋外） ※夏季のみ | 1,275 | 50m×19m（9コース）、25m×13m（6コース） 幼児用プール10m×6m（スライダー付）、 幼児用プール10m×6m（スライダー無） |
| ⑥ 管理棟 | 341.1 | 管理事務所 |
| ⑦ プール管理棟 | 341.5 | プール管理事務所 |
| ⑧ 駐車場 | — | 400台（無料） |



(2) 施設の利用状況

| | | | |
|------|---------|--------|---------|
| 利用者数 | ：平成29年度 | 1,993件 | 42,627人 |
| | 平成30年度 | 1,860件 | 43,832人 |
| | 令和元年度 | 1,874件 | 40,505人 |

4 アクティビティ

4-2 ビーチスポーツ公園

ビーチスポーツ公園は、ビーチバレーコートが6面有しており、ビーチサッカーやビーチラグビーも楽しむことができます。

また、東京2020オリンピックビーチバレーボール競技の事前キャンプ予定地に指定されています。



(1) 施設の概要

| | |
|-------|--|
| 所在地 | 掛川市千浜8572-3 |
| 総面積 | 17,501㎡（砂コート・駐車場）、 コート面積2,706㎡（82m×33m） |
| 建設年度 | 平成12年度（平成12年8月1日オープン） |
| 指定管理者 | 掛川市体協・ミズノ・鹿島建物協働体 |
| 隣接施設 | 駐車場に「シートピアオートキャンプ場」オープン(平成29年6月30日) |
| その他 | 土地は千浜東部区、千浜北部区及び千浜西区からの借地 |

■ 施設の一覧

| 施設名 | 施設内容 |
|-----------|---|
| ビーチバレーコート | ビーチバレー 6面（16m×8m） ビーチサッカー 1面（37m×28m） ビーチラグビー 1面（50m×25m） シャワー |
| 駐車場 | 182台（無料） |

(2) 施設の利用状況

利用者数 : 平成29年度 49件 2,860人
平成30年度 43件 1,831人
令和元年度 57件 2,343人

4 アクティビティ

4-3 大東B&G海洋センター艇庫

大東B&G海洋センター艇庫には、カヌーやSUPなどの舟艇が保管しており、南部のマリンスポーツ普及の拠点となっています。また、USPR[※]掛川救難所の拠点ともなっており、水上オートバイを使い、官民連携して水難事故への対応や訓練を行っています。



※Union of Shizuoka PWC-Rescue の頭文字で静岡県水上オートバイレスキュー連合体という意味です。

(1) 施設の概要

| | | | |
|-------|-------------------|-----|-----------------|
| 所在地 | 掛川市国安2808-15 | 総面積 | 1,984㎡ |
| 建設年度 | 平成4年度 | 構造 | 鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄骨造 |
| 指定管理者 | 掛川市体協・ミズノ・鹿島建物協働体 | | |

■ 施設の一覧

| 施設名 | 面積 (㎡) | 施設内容 |
|-------|--------|-----------------------|
| 艇庫 | 412 | カヌー、SUP、水上オートバイ 他 |
| 艇庫会議室 | 概算 71 | ミーティングルーム (教室形式60人収容) |
| 事務室 | 概算 47 | — |
| 駐車場 | 約1,300 | 10台 (無料、施設利用時のみ) |

(2) 施設の利用状況

利用者数 : 平成29年度 42回 294人
平成30年度 79回 310人
令和元年度 55回 202人



4 アクティビティ

4-4 大須賀B&G海洋センター プール

大須賀B&G海洋センターのプールは、長さ25m（6コース）のメインプールと幼児用のプールを備えた屋内施設で、毎年7月中旬から8月下旬に開館します。



(1) 施設の概要

| | | | |
|-------|---------------------|-----|--------|
| 所在地 | 掛川市沖之須1924-1 | 総面積 | 6,908㎡ |
| 建設年度 | 昭和60年度（昭和61年4月8日竣工） | | |
| 指定管理者 | 掛川市体協・ミズノ・鹿島建物協働体 | | |

■ 施設の一覧

| 施設名 | 面積（㎡） | 施設内容 |
|----------|-------|-------------------------|
| プール（上屋付） | 1,010 | 25m×13m（6コース）、幼児用10m×6m |
| プール管理等 | - | プール管理事務所 |
| 駐車場 | - | 260台（無料） |

(2) 施設の利用状況

利用者数：平成29年度 619人
平成30年度 628人
令和元年度 756人



4 アクティビティ

4-5 大東マリーナ

大東マリーナは、不法係留船対策を目的として設立され、平成4年に管理運営の主体となる第3セクター(株)大東マリーナにより供用が開始されました。

現在は不法係留船の問題も解消され、漁業関係者だけでなく、レジャー船等の停泊地としても利用されています。



(1) 施設の概要

| | | | |
|--------|-------------------------------------|-------|---------|
| 所在地 | 掛川市三俣620番地 | 係留地面積 | 17,040㎡ |
| 係留護岸延長 | 497m | 水門 | 1基 |
| 運営主体 | 株式会社大東マリーナ(代表取締役1名、取締役4名、株主14団体・個人) | | |

(2) 施設の利用状況

利用隻数：平成29年度 16隻
平成30年度 13隻
令和元年度 13隻



4 アクティビティ

4-6 オーシャンゴルフクラブ

オーシャンゴルフクラブは、弁財天川河口右岸に位置するゴルフ場です。コースは9ホールあり、そのうち3ホールは300ヤードを超えており、本コースのようなテイストで、子どもや初心者から上級者まで幅広く楽しむことができます。

(1) 施設の概要

| | |
|-----|--------------------------|
| 所在地 | 袋井市中新田1269-4 (クラブハウス所在地) |
| コース | 9ホール PAR : 30 |



9H PAR:30×2

OUT

| HOLE | HDCP | YARD | | PAR |
|------|------|-------|-------|-----|
| | | BACK | FRONT | |
| 1 | 7 | 91 | 89 | 3 |
| 2 | 8 | 125 | 110 | 3 |
| 3 | 2 | 335 | 300 | 4 |
| 4 | 9 | 95 | 80 | 3 |
| 5 | 4 | 345 | 330 | 4 |
| 6 | 3 | 310 | 295 | 4 |
| 7 | 5 | 149 | 132 | 3 |
| 8 | 1 | 165 | 153 | 3 |
| 9 | 6 | 160 | 155 | 3 |
| OUT | | 1,775 | 1,664 | 30 |

IN

| HOLE | HDCP | YARD | | PAR |
|------|------|-------|-------|-----|
| | | BACK | FRONT | |
| 10 | 7 | 91 | 89 | 3 |
| 11 | 8 | 125 | 110 | 3 |
| 12 | 2 | 325 | 300 | 4 |
| 13 | 9 | 87 | 80 | 3 |
| 14 | 4 | 340 | 330 | 4 |
| 15 | 3 | 310 | 295 | 4 |
| 16 | 5 | 149 | 132 | 3 |
| 17 | 1 | 165 | 153 | 3 |
| 18 | 6 | 161 | 155 | 3 |
| IN | | 1,753 | 1,644 | 30 |
| OUT | | 1,775 | 1,644 | 30 |
| 合計 | | 3,528 | 3,288 | 60 |

出典：オーシャンゴルフクラブ ホームページ



5 生産工場等

本ビジョンの対象地域となる国道150号以南には、40社以上もの企業が立地しており、業種も、輸送用機械、化学・医薬品、物流など多岐にわたります。

| 区域 | 地区 | 工場数 |
|-----|----------|-----|
| 大東 | 千浜、睦浜 | 22 |
| 大須賀 | 大須賀第三、大洲 | 20 |
| 計 | | 42 |

海岸線地域の魅力企業

株式会社高砂ケミカル

合成香料・医薬品の原料などを製造し、生產品目は100種類を超えています。最小限の設備で少量多品種を製造できる省エネ・省人化システムの開発に着手。異業種8社との共同開発を先導し、掛川工場です試作機器を設ける計画が進められています。



株式会社飛鳥工務店

「生きている木」を使い、宮大工の技を駆使して、社寺や山車のみならず、住宅の設計・建築にも取り組んでいます。「木組み」、「手刻み」の技を有する宮大工として、これまでに掛川城御殿や竹の丸の修復を行っているほか、現在、市指定文化財「松ヶ岡」の修復も行っており、貴重な木造建築を後世に伝えています。



ウシオケミックス株式会社

テレビなどのディスプレイに使われる液晶材料や、有機EL材料の研究と製造を行っています。ウシオケミックスの有機ELは、世界最高レベルの99.999%の純度となっており、純度が上がるほど省エネで長寿命の製品ができ、用途も広がります。
(写真は御前崎の研究所、工場)



6 再生可能エネルギー施設

掛川市の年間の日照時間は2,030時間であり全国的に平均的な東京の日照時間の1,847時間と比べて長くなっています。また、冬場の積雪もほとんどないことから、太陽光発電に適した地域となっています。

風速については、年間平均2.2m/sとなっており、穏やかではありますが、これは調査地点の数値であるためです。海岸線地域では、冬を中心に風が強く吹き、土地利用においても風力発電の立地可能地が多いことから、風力発電の適地として立地が進んでいます。

■掛川市の気象状況（1979年～2000年の22年間における月平均値）

| 要素\月 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 年間合計 | 年間平均 |
|-----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 平均気温(℃) | 6.1 | 6.3 | 9.5 | 14.1 | 17.9 | 21.3 | 24.7 | 26.2 | 23.5 | 18.4 | 13.4 | 8.4 | - | 15.8 |
| 最高気温(℃) | 10.2 | 10.6 | 13.6 | 17.9 | 21.4 | 24.2 | 27.5 | 29.4 | 26.9 | 22.4 | 17.7 | 12.8 | - | - |
| 最低気温(℃) | 2.3 | 2.4 | 5.3 | 10.0 | 14.3 | 18.6 | 22.2 | 23.3 | 20.5 | 14.8 | 9.5 | 4.3 | - | - |
| 降水量(mm) | 54.5 | 73.3 | 166.2 | 188.0 | 181.2 | 253.0 | 206.9 | 191.2 | 265.7 | 146.2 | 119.4 | 43.2 | 1888.8 | 157.4 |
| 平均風速(m/s) | 2.8 | 2.9 | 2.7 | 2.4 | 2.1 | 2.0 | 1.9 | 1.8 | 1.8 | 1.9 | 2.1 | 2.4 | - | 2.2 |
| 日照時間(h/月) | 184.5 | 186.1 | 184.0 | 185.7 | 163.1 | 108.7 | 141.3 | 214.0 | 152.7 | 163.1 | 165.3 | 182.4 | 2030.9 | 169.2 |

注) 掛川 AMeDAS 及び磐田 AMeDAS における 1979 年～2000 年 (22 年間) の月平均値

☀️ 太陽光発電所

海岸線地域には、大規模な太陽光発電所として、掛川大淵・沖之須太陽光発電所が立地しています。

1) 掛川大淵・沖之須太陽光発電所

| | |
|-------|------------------------|
| 所在地 | 掛川市大淵・沖之須 |
| 敷地面積 | 172,590 m ² |
| 完成日 | 平成29年11月22日 |
| 事業者 | アサヒコーポレーション |
| 土地所有者 | 民間地権者約150人 |



- ※ 設置枚数 : 67,755 枚
- ※ 最大出力 : 17,955 kW
- ※ 年間予想発電量 : 19,750 MWh
- ※ 年間CO₂排出削減量 : 9,500 t
- ※ 一般家庭使用相当 : 5,400 世帯分

風力発電所

海岸線地域には、海岸線に沿って大型の風力発電所が立ち並んでいます。また、遠州灘においても、洋上風力発電所が計画されています。

1) 遠州掛川風力発電所（7基）・浜野風力発電所（1基）

| | |
|------|---|
| 運転開始 | 平成23年9月（遠州掛川風力発電所） 平成21年10月（浜野風力発電所） |
| 発電機 | ドイツ エネルコン社製 |
| 事業者 | くろしお風力発電株式会社 |

- ※ 最大出力 : 13,980 kW（遠州掛川風力発電所 7基）
- : 1,990 kW（浜野風力発電所 1基）
- ※ 年間予想発電量 : 約34,000 MWh
- ※ 一般家庭使用相当 : 9,500 世帯分



2) 大須賀区域の風力発電所（6基）

| | |
|------|-------------|
| 運転開始 | 令和元年年秋 |
| 発電機 | ドイツ エネルコン社製 |
| 事業者 | 掛川風力開発株式会社 |

- ※ 最大出力 : 13,800 kW
- ※ 年間予想発電量 : 約29,000 MWh
- ※ 一般家庭使用相当 : 8,000 世帯分

7 農業観光施設

7-1 大須賀物産センターサンサンファーム

大須賀物産センターサンサンファームは、大須賀地区の農・商・工一体となったまちづくりの核として観光農業の開発及び振興を図り、地場産業の振興、就業機会の増大と地域経済の活性化を目指した施設です。国道150号線の沿線に位置しており、「道の駅」のような休憩機能と、地元で生産された直産品や銘菓などが並んでいます。

この地域では、1790年頃、横須賀藩の武士・津田信助が、当時秘伝とされた砂糖づくりとサトウキビの苗を横須賀に持ち帰り、この地方に広めたと伝わっています。白砂糖は一時は途絶えましたが、【よこすかしろ】の銘柄で、地元保存会により復活し、サンサンファームで販売されています。



↑サンサンファーム付近で栽培されるサトウキビ(世界におけるサトウキビ栽培の北限と言われる)

| | |
|-----|-------------------------|
| 所在地 | 掛川市大淵1456-312 |
| 事業者 | 有限会社サンサンファーム(平成5年10月設立) |
| 設置者 | 掛川市(旧大須賀町) |

7-2 赤ずきんちゃんのおもしろ農園

赤ずきんちゃんのおもしろ農園では、いちご摘み、スイカもぎ、砂地の特性を生かしたメロンもぎ、さつまいも掘りが体験できます。

一部がバリアフリー農園(いちご)となっているほか、メロンやさつまいものオーナー制度、完全予約制の「バンパイアナイト(夜のイチゴ摘み)」などが開催されています。

また、広い屋内空間を利用し、雨天でも可能なバーベキューの場所として、手ぶらで本格的な肉料理が楽しめる新しいサービスを提供しています。



出典: 赤ずきんちゃんのおもしろ農園 ホームページ

| | |
|-----|---------------|
| 所在地 | 掛川市大淵1456-320 |
|-----|---------------|

7 農業観光施設

7-3 いちごのピーターパンハウス

ピーターパンハウスでは、縦長で果汁豊か酸味が少なく甘みが強い「章姫（あきひめ）」、果肉が大きいたっぷりの甘みと適度な酸味がある「紅ほっぺ」の2種類のいちご狩りができます。

また、バリアフリー農園となっており、車いすや子連れの家族も快適に楽しめます。

| | |
|-----|----------------|
| 所在地 | 掛川市大淵1456-2388 |
|-----|----------------|



7-4 金ちゃん農園

金ちゃん農園では、1月～5月のいちご狩り（紅ほっぺ）を行っています。

いちご狩りのほか、砂地を生かした多品種のサツマイモや石川子芋を販売しています。「紅あずま」のほかに、現在人気の蜜芋タイプの「紅はるか」や「シルクスweet」などを栽培しています。「紅はるか」は「安納芋」と同等レベルの糖度で、ねっとりした食感となります。

また、カロテンを多く含み、肉色がニンジンのような色をしている「にんじんいも(総称)」も栽培してます。

| | |
|-----|-------------|
| 所在地 | 掛川市大淵8513-1 |
|-----|-------------|



7-5 沖ちゃん塩

遠州沖ちゃん塩クラブでは、和食の基本の調味料「さしすせそ」の「し（塩）」を、遠州灘の海水を蒸発させるという昔ながらの製法で作っています。

戦時中に盛んに行われていた塩作りを復活させることで地域を元気にしようと、平成14年から地元の方々に開始し、現在では週1回の頻度での塩づくりや、各種イベントに参加しています。静岡県コミュニティづくり推進協議会による「平成23年度コミュニティ活動賞」において優秀賞を受賞しました。

| | |
|-----|---------------|
| 所在地 | コミュニティセンターいこい |
|-----|---------------|



8 文化財・遺構

8-1 晴明塚（掛川市指定文化財）

晴明塚は、今からおよそ千年前に、それまで度々村人を襲った津波防止のために、天文・暦学に詳しい陰陽師・安倍晴明があずき色の小石を積み上げて熱心に祈禱をしたと言われる塚です。その霊験により、以後その村には津波の災難がなくなったと言われており、村人は自然の暴威を鎮めた晴明の徳をたたえてここに祀り、晴明塚と称するようになりました。

また、晴明塚に祈願すると疱疹にかからないと信じられ、往年その流行期には遠近から多数の参詣者がありました。疫病予防のためには、赤い石一個を借り出し、お礼の時には二個にして返します。すると返した石がどんな色の石でもあずき色にかわると伝えられ、遠州七不思議の一つに数えられています。

| | |
|-----|---------|
| 所在地 | 掛川市大淵地内 |
|-----|---------|



8-2 旧陸軍 遠江射場跡

昭和15年、掛川市浜野から御前崎市白羽の海岸線に沿って陸軍遠江射場が開設されました。

射場とは、大砲等の発射実験を行う施設で、火薬の量を調節し、発射距離の観測をしていました。浜野地区に試射地点（原点砲列）が設けられていたため、主要施設も浜野地区に集中していました。

施設としては、司令部、火薬や砲弾の製造所、砲の格納所、不発弾処理場などがあり、これらに付随する観測機器置き場、出張員の宿舍、工員の詰め所、修理工場、資材を運搬するための軌道などもありました。現存する代表的な戦争遺跡となっています。

| | |
|-----|---------|
| 所在地 | 掛川市浜野地内 |
|-----|---------|



3 掛川市海岸線地域ビジョン

掛川市海岸線地域の将来像と3つの柱

・掛川市海岸線地域の将来像と3つの柱を以下のとおり定めます。

広大な海浜と潮騒の杜に抱かれた
「希望と活力にあふれる
新産業レクリエーションエリア」
～ アフターコロナを見据えた事業展開 ～

1 海岸線を
活かし、
魅了する

2 海岸線で
楽しむ

3 海岸線で
働き、
生み出す

3つの柱の方針

1 海岸線を **活かし、魅了する**

《人を魅了する雄大な海浜と潮騒の杜のグリーンベルトの活用》

- ▶ここにしかない遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力を発信し、人々を魅了します。
- ▶海岸線ならではの景観・海の幸・潮騒の杜を活かし、地域の魅力をさらに高めます。

2 海岸線で **楽しむ**

《スポーツ・レクリエーションのメッカとしての拠点づくり》

- ▶スポーツ・レクリエーションをする人、みる人、すべての人が楽しめ、行きたくなるような海岸線地域を目指します。
- ▶次の時代を見据えたワクワクする取組みにより、海岸線で楽しんでもらえる工夫をします。

3 海岸線で **働き、生み出す**

《地域特性を活かしたエネルギー・産業・農業の振興》

- ▶エネルギーや食の地産地消が注目されている中、海岸線の特性を活かしたエネルギー産業や農業の振興により、地域全体に好影響を与える海岸線地域を目指します。
- ▶新産業の立地促進や新しいライフスタイルの提案により、活力あふれる海岸線地域をつくりまします。

- ・3つの柱ごとに取組みの方向性を整理します。

1 海岸線を **活かし、魅了する**

《人を魅了する雄大な海浜と潮騒の杜のグリーンベルトの活用》

- 1 遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション
- 2 遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出
- 3 美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む
- 4 正確な情報と森の防潮堤「掛川潮騒の杜」で不安を払拭

2 海岸線で **楽しむ**

《スポーツ・レクリエーションのメッカとしての拠点づくり》

- 1 海岸エリアのシンボル「シートピア」の民間活力による再生
- 2 日本を代表するサイクリングロードの整備・活用
- 3 掛川潮騒の杜のレクリエーション化
- 4 日本のマリンスポーツのメッカへ
- 5 多彩なスポーツ施設のリニューアルと有効活用

3 海岸線で **働き、生み出す**

《地域特性を活かしたエネルギー・産業・農業の振興》

- 1 太陽光・風力などの再生可能エネルギーの利活用の促進
- 2 地域循環共生圏における再生可能エネルギーの供給拠点化
- 3 将来を担う産業集積エリアの継続と発展
- 4 地域特性を活かした農業振興
- 5 多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域

1 海岸線を **活かし、魅了する**

《人を魅了する雄大な海浜と潮騒の杜のグリーンベルトの活用》

1 遠州灘と南遠大砂丘の自然の魅力発信・プロモーション

- ・遠州灘は、流れが速く遊泳はできませんが、釣りや自然にふれあう場として多くの人に親しまれています。
- ・広大な砂浜は、日本三大砂丘の一つ「南遠大砂丘」の一角を形成しており、訪れる人に自然の雄大さを感じさせるとともに、高波や潮風を防ぐ防護の役割も担っています。

- 遠州灘と南遠大砂丘の雄大な自然の魅力を、掛川市の地域資源、観光資源として発信していきます。
- 自然保護団体などと協力してアカウミガメなど貴重な動植物の保護に取り組めます。
- フィルムコミッション活動の推進などにより、海岸線の認知度の向上や魅力向上に繋がります。



広大な南遠大砂丘



夕刻の潮騒橋



砂浜を守る堆砂垣の設置



朝日に染まる遠州灘

生物多様性を学ぶ取組み

- ・貴重なアカウミガメの産卵地となっている遠州灘では、貴重な生物の生態や住みよい環境づくりを学んでもらおうと、サンクチュアリ エヌピーオーにより学習会が毎年行われています。



アカウミガメ

出典：環境省 ホームページ

Column

撮影地としての魅力発信

浜松フィルムコミッション

浜松市では、映像作成をサポートするフィルムコミッションとして、ロケ候補地の情報提供や撮影許可申請の案内、エキストラの手配等を行っています。

なかでも中田島砂浜は、日本三大砂丘「南遠大砂丘」の一部であり、人気の撮影スポットとして、多くの映画やテレビの撮影が行われています。



出典：中田島砂丘ホームページ

「エール」のまち！豊橋

連続テレビ小説「エール」の舞台の1つとなった豊橋市では、海岸で撮影が行われたことを記念としてオブジェが設置されるなど、新しい観光地として賑わいをみせています。

また豊橋市全体においても、撮影地やドラマのヒロインであり豊橋出身の古関金子のゆかりの地としてイベントの開催等を行っています。



出典：NHKホームページ



出典：豊橋市ホームページ



出典：豊橋市ホームページ

2 遠州灘の豊かな海の幸を活かした賑わいの創出

- ・遠州灘では、年間を通して様々な海の幸がとれ、漁港へ水揚げされています。主な魚種には、「しらす」「かつお」「とらふぐ」「さば」「タチウオ」「ヒラメ」「あじ」「たい」などがあります。
- ・浜辺では、投げ釣りを楽しむ人たちの光景がみられるほか、釣り大会も行われるなど、釣り場としても親しまれています。
- ・早春から初夏を中心に潮干狩りが行われ、ちょうせん「汀線ハマグリ」や「ナガラミ」、地元で「ハタミ」と呼ばれる「コタマガイ」などの貝が採れます。
- ・マリーナが整備されており、漁業者だけでなく、レジャー船等の停泊地としても利用されています。

※遊漁には、遊漁に関する法律や規則があります。ルールを守って楽しく遊びましょう。

- 遠州灘ならではの豊かな海の幸の魅力を発信していきます。
- 掛川の海は絶好の漁場、釣り場であることから、その恵みを享受する地引き網などの食・体験・交流の場を創出していきます。
- 近隣施設との相乗効果により、大東マリーナのさらなる利活用を促進していきます。



ハタミ取り



地引き網



ハタミのお吸い物



国安海岸のシラス漁



小さなカニとハタミ

地引き網復活

- 地引き網漁は、古くは日本の沿岸部における重要な漁法であり、広く行われていました。近年は魚群探査技術の向上により効率的な沖合のまき網漁業などの発達や湾港施設の整備により全国的に衰退しています。一方で、近年は採った魚をその場で味わえるため、観光漁業として続けている地方もありますが、市内では行われていません。
- 遠州灘は、多くの魚種が見込まれ、海の荒れた時季を外した4月下旬から10月頃まで地引き網漁ができることから、千浜地区の有志で結成される地引き網の保存会が復活に向け検討を行っています。
- 掛川市としても、地元の伝統や豊かな海の幸に触れられ、環境学習の機会にも繋がる地引き網について、復活を目指し取り組んでいきます。



千浜で行われた地引き網の様子
(平成10年頃)

Column

掛川の遠州灘は全国的に有名な漁場、釣り場

掛川の遠州灘は、遠浅で潮の流れが速く、漁場、釣りにも最高のスポットとなっています。魚種も豊富で、真鯛やスズキをはじめとして、ヒラメやマゴチのフラットフィッシュ、ブリ、カンパチの大型青物、また時には怪魚といわれるオオニベまで、全ての魚種が釣れると言われています。

浜辺での釣りは、ルアーフィッシングが中心ですが、初心者から上級者、プロまで楽しめます。全国から釣り好きが集まる「夢と浪漫がある場所」、それが遠州サーフであり、掛川の遠州灘です。



提供：赤堀和博さん

釣り人が並ぶ朝の遠州灘

大東マリーナのさらなる利活用

- ・菊川の河口に位置し、遠州灘の良好な漁場も目の前の大東マリーナは大きく生まれ変わる可能性があります。
- ・隣接するシートピアの再生とあわせて総合マリリゾートの拠点としての活用が望まれます。



Column

海の魅力を発信する「海の駅」

神奈川県横浜市の「横浜ベイサイドマリーナ」は、「よこはま・かなざわ海の駅」として国土交通省からも認定を受けており、クルージングやセーリング、ボート、カヌー等のマリンスポーツや漁業体験ができるほか、ボート免許の取得も可能です。また、バーベキュー場も備わっています。

アウトレットと併設しているため、家族連れやカップルの来客も多く、夜景スポットとしても人気です。



出典：横浜ベイサイドマリーナ ホームページ

Column

旬の海の幸を味わえるイベント施設

浜名湖に面する湖西市の「海湖館」では、海にちなんだ体験学習ができるほか、バーベキュー場や釣りができる海釣公園も近くに備わっています。

毎年1月～3月には期間限定で「牡蠣小屋」が設置され、湖西市の名物である「プリ丸」と呼ばれる大粒で旨味の強い牡蠣を、バーベキューコンロで焼いて堪能することができます。人気となっています。



出典：湖西市観光振興協議会 ホームページ

3 美しい海岸と掛川潮騒の杜のグリーンベルトを守り・育む

- ・掛川潮騒の杜が整備されることにより、東西約10km、幅約50mもの広大なグリーンベルトが誕生します。広葉樹やクロマツなどの混植の森林地帯となり、動植物の生息、生育の場、市民が自然とふれあう場となります。
- ・浜名湖今切れ口から千浜東にかけても防潮堤の建設が進んでおり、将来的には総延長約40kmの一大グリーンベルトの防潮堤が完成することとなります。
- ・掛川モデルの基本方針では「杜で守る～自然災害から生活を守る杜を作ります～」、「杜を育む～市民・企業・行政の協働で杜を育てます～」、「杜に集う～次代を担う若者や子どもたちが集い、楽しむ杜として活用します～」としています。
- ・将来にわたって美しい海岸や掛川潮騒の杜を守っていくため、市民、企業、行政が協力して活動していくことが求められています。

- 有事の際には防災林となり、平時は潮騒の杜サポーター制度などを活用し、市民・企業・行政の協働で杜を育て、多くの人が集い、楽しむ杜にしていきます。
- 市民や企業と協働し、海岸に漂着したごみを拾うなど、美しい海岸を守っていきます。



工事が進む掛川潮騒の杜



協働で行われている植樹活動



植樹活動に参加する子ども



希望の森づくり 植樹祭



掛川潮騒の杜のグリーンベルト完成予想図

Column

遠州灘沿岸の斜め海岸林の歴史と景観的価値

斜め海岸林は、掛川市から御前崎市の沿岸区間で、海岸線に対して斜めに造成されている海岸林です。

冬の冷たく激しい季節風「遠州の空っ風」による飛砂から農地や宅地を保護するため、江戸時代末期以降、100年以上の年月をかけて形成され、現存する海岸林は総延長50km以上に及びます。国内唯一の貴重な景観となっています。



Column

日本各地の貴重な地域資源を魅力とするジオパークでの保全活動

山陰海岸ジオパーク

山陰海岸ジオパークでは、ボランティアによる清掃活動を行うほか、清掃活動や自然環境の再生・維持活動、普及啓発・調査研究活動等の保護・保全活動に対して補助制度を設けています。

下北ジオパーク

下北ジオパークでは、「下北ジオパーク保全管理計画を策定」し、ジオパークの管理体制づくりを行った上で、モニタリングの実施や多様な媒体による情報収集により、景観や環境等の課題に対してスムーズに対処しています。



出典：山陰海岸ジオパークホームページ

4 正確な情報と森の防潮堤「掛川潮騒の杜」で不安を払拭

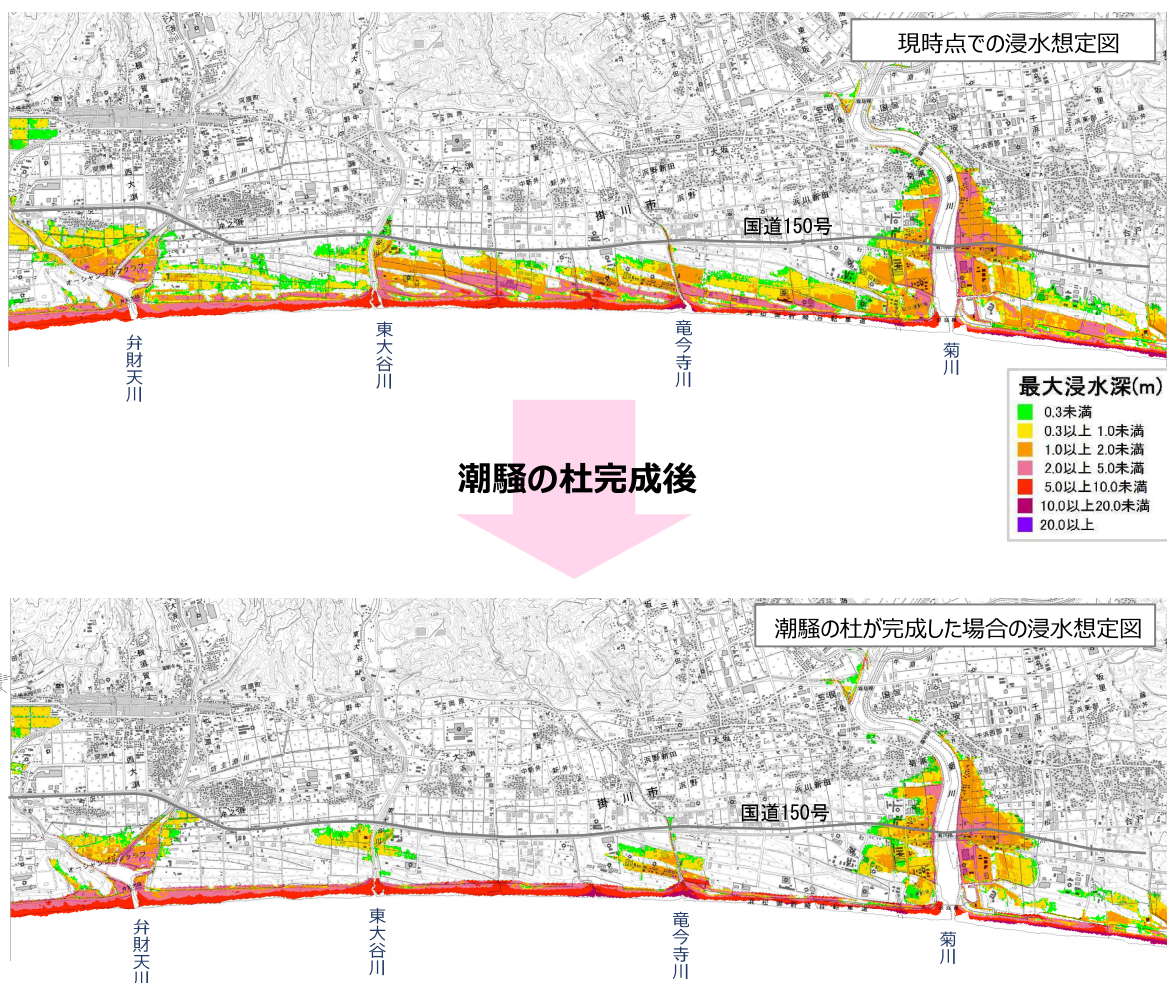
- ・概ね数十年から百数十年に一度発生するレベル1の地震での津波浸水域は、南遠大砂丘により海岸付近に限られています。
- ・あらゆる可能性を考慮した最大クラスレベル2の地震であっても、掛川潮騒の杜の完成により、被害を大幅に軽減できることとなります。

- 静岡県津波浸水想定などの正確な情報や、掛川潮騒の杜の整備効果を周知し、南部地域全体に及ぶ不安を取り除きます。

静岡県津波浸水想定（潮騒の杜完成後との比較）

- ・現時点でのレベル2の津波浸水想定は国道150号線以南や菊川、弁財天川河口付近の広範囲にわたり浸水被害が想定されます。掛川潮騒の杜の完成後は、河川を遡上する津波の影響は残りますが、海岸沿いの浸水想定範囲は大幅に縮小し、海岸付近のみに留まると想定されています。

レベル2 の津波浸水想定



2 海岸線で楽しむ

《スポーツ・レクリエーションのメッカとしての拠点づくり》

1 海岸エリアのシンボル「シートピア」の民間活力による再生

- ・近年、シートピアの利用者は減少していますが、掛川城を超える年間約16万人の入館者があり、海岸線地域の一大観光拠点となっています。
- ・一方で、利用者の減少や老朽化などにより、経営を見直す時期にきており、民間の力を最大限活用した再生が求められます。
- ・シートピア内にキャンプ場があるものの、海岸線沿いの宿泊施設は不足しており、掛川駅周辺の施設まで行かなければならない状況となっています。

- 海岸エリアのシンボル「シートピア」の譲渡先を早期に決定し、民間の力を最大限活用した再生を図っていきます。
- 「温泉が出る」という利点、さらには、海岸や運動公園、マリンスポーツ、オートキャンプ場、自転車道などの地域資源との相乗効果で売り出していきます。
- 海岸線地域に少ない宿泊施設、オートキャンプ場の充実を検討していきます。



■ 掛川市南部における宿泊施設の立地状況

Column

人気のあるアウトドア施設「竜洋海洋公園オートキャンプ場」

磐田市の竜洋海洋公園オートキャンプ場は、好きな場所にテントをはれるフリーサイトや、車を乗り入れることができるAC電源、流し台付きのオートサイト、コテージ、キャンプファイヤー、炊事棟、トイレ等が備わったキャンプ場で、キャンプ初心者でも楽しむことができます。

また、キャンプ場近くのテニスコートやプールでも遊ぶことができ、遠州灘、天竜川にも近く、釣りも楽しめます。また、カヌー体験や海亀放流体験、天体観測など、季節により様々なイベントも開催しています。

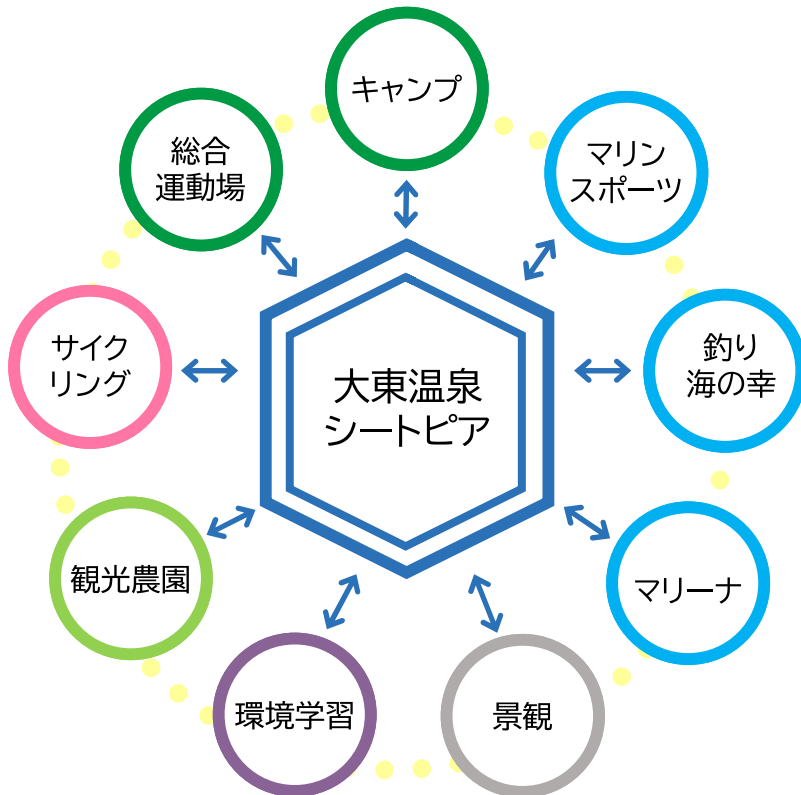


出典：竜洋海洋公園 ホームページ

魅力施設・資源が集積するシートピア周辺

・掛川の海岸線地域には、魅力的な地域資源や施設が数多くあり、海浜の自然環境も雄大で大きな魅力があります。その中で、シートピアは、近隣に大東マリーナ、大東総合運動場、潮騒橋などがあり、また、周辺で行われるスポーツ・アクティビティの休憩施設としても広く利用されています。このようなことから、シートピアと周辺施設との相乗効果を高め、掛川市の海岸線エリアを一大レクリエーションゾーンとして位置づけるとともに、近隣の各施設と一体となった再生が求められます。

■シートピアが拠点となるイメージ図



Column

温泉地における「癒し」と「食」をテーマとした民間拠点施設

三重県菰野町の「湯の山温泉 アクアイグニス」は、湯の山の「癒し」と「食」をテーマとした複合温泉リゾート施設です。

温泉スペースには休憩所やカフェ・バーがあり、ゆったりと過ごすことができるほか、温泉と朝ヨガレッスンのセットプラン等も提供しています。

園内にはいちごのビニールハウスがあるため、いちご狩りをしたり、朝採りのいちごを使用した有名シェフプロデュースのケーキを味わうことができます。また、手ぶらでバーベキューを楽しめる施設も備わっています。



出典：湯の山温泉 アクアイグニス ホームページ



出典：湯の山温泉 アクアイグニス ホームページ



出典：湯の山温泉 アクアイグニス ホームページ

Column

民間主体による複合機能によるエリア一体の魅力化

三重県多気町（人口約1.5万人）は山海の幸に恵まれた地域となっています。この地で、三重にゆかりのある民間企業4社からなる合同会社が設立され、県・町・地元大学とともに産学官連携による、食や健康などをテーマとした滞在型複合施設の設置が進んでいます。

高速道路と直結するスマートICを民間が整備する初の事業ともなっています。

| | |
|------|---|
| 事業体 | 合同会社三重故郷創生プロジェクト |
| 事業者 | 株式会社アクアイグニス／イオンタウン株式会社／ロート製薬株式会社／ファーストブラザーズ株式会社 |
| 事業内容 | 宿泊施設、温浴施設、飲食店、製造販売店、物販店、産直市場、農園ほか（約50店舗） |
| 敷地面積 | 35万坪（開発面積16万坪） |



出典：合同会社三重故郷創生プロジェクトホームページ

温泉と海岸線の立地を生かした拠点づくり

- ・シートピアを「温泉施設付き複合施設」としてリニューアルし、地域の野菜や果物などの物産を充実させ、市民が集う新たなコミュニティの場としても考えられます。特に、いちごやメロン、芋など、海岸地域の風土メニューを提供する「フード&ヘルシーショップ」を作り、温泉施設のある農業・商業・観光の南部の産業拠点とすることも考えられます。
- ・インストラクターによるエアロビクスやヨガ等の健康講座などを行い、温泉・サウナ利用とセットとするなど、複合的な機能売り出すアイデアもあります。
- ・ウミガメの産卵、浜昼顔・ハマボウフウなど海浜植物を学ぶ「海辺の自然環境スクール」の開催なども考えられます。



Column

シートピア周辺を次世代モビリティの拠点に？

瀬戸内海の島々と広島空港では水陸両用機を利用した遊覧飛行サービスが運航しています。また、静岡県内では「しずおか自動運転ShowCASEプロジェクト」として公道での自動運転の実証実験が進められているほか、全国的には道の駅を拠点に自動運転の実験が行われています。

大東マリーナを水上交通の発着拠点とすることや、大東総合運動場と大東温泉シートピアを自動運転サービスで繋ぐなど、新しいモビリティで魅力化を図っていくこともひとつです。

水上飛行機のイメージ



出典：せとうちSEAPLANES



出典：国土交通省

Column

サーファーの心をつかむ温泉施設

下田市の「下田大和館」は、目の前がサーフポイントとして人気の多々戸浜となっている温泉宿泊施設です。

多々戸浜へは専用通路で直結しているほか、チェックイン前後の駐車場、シャワーの利用が可能です。また、ウェットスーツ干し場の完備がされており、館内はウェットスーツのまま移動することができるなど、サーファーに嬉しいサービスが充実しています。



出典：下田大和館 ホームページ

2 日本を代表するサイクリングロードの整備・活用

- ・掛川市の海岸線地域には、千葉県から和歌山県を結ぶ、日本を代表する自転車道「太平洋岸自転車道」が通っており、太陽と潮風を満喫できます。
- ・一方で、太平洋岸自転車道については、老朽化や砂だまりなどの問題も生じています。

- 掛川潮騒の杜の整備に合わせて自転車道を再整備し、日本を代表するサイクリングのメッカにしていきます。
- サイクリストが集えるよう「バイク・フレンドリー・ステーション」の設置拡大や民間施設と連携したサイクリストへのサービス拡充を目指します。



ナショナルサイクルルートへの指定に向けて

- ・ナショナルサイクルルート制度は、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るため、一定の水準を満たすルート为国が指定することで、世界に誇りうるサイクリングルートとして国内外にPRを行い、サイクルツーリズムを強力に推進していくものです。令和2年10月時点では3ルートが指定されています。
- ・国の機関及び静岡県など地方公共団体による「太平洋岸自転車道ナショナルサイクルルート指定推進協議会」では、ナショナルサイクルルートへの指定を目指しています。

Column

サイクリストのための宿泊施設

伊豆の国市のホテル「KONA STAY」は、自転車の保管やメンテナンス洗浄のサービスのほか、レンタルサイクルやツアー、サイクリングコースの案内を行っており、サイクリストの自転車旅をサポートしてくれます。



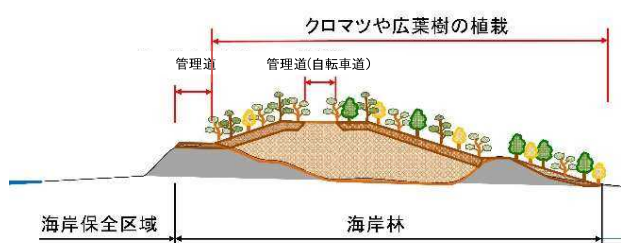
出典：KONA STAYホームページ

3 掛川潮騒の杜のレクリエーション化

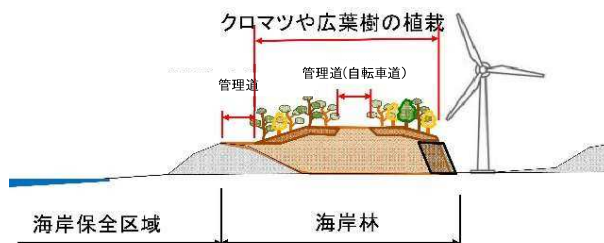
- ・掛川潮騒の杜は、県有地の海岸林の幅・背後地の条件にあわせて、整備を進めています。
- ・整備パターンや周辺環境などを踏まえ、次世代を担う若者や子どもたちが集い・楽しむ杜として活用していくことが求められています。

《防潮堤の整備パターン》

パターン1



パターン2



- 掛川潮騒の杜について、子ども達の遊び場や公園となるよう、アスレチック施設などの整備を検討していきます。
- 掛川潮騒の杜の管理道について、自転車道として活用していくほか、ジョギング・マラソンコースなどスポーツ・レクリエーションの場として活用していきます。
- 防潮堤の壁面をアートやスポーツ・レクリエーションの場として活用していきます。

掛川潮騒の杜のレクリエーションに向けたアイデア

○潮騒の杜の利活用としては以下が考えられます。

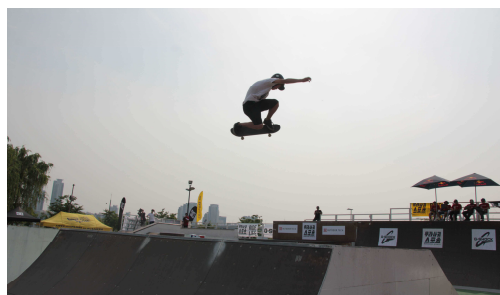
サイクリング（太平洋岸自転車道）／散策路／子どもの体験学習／ポケットパーク／展望施設／ジョギング・マラソンコース／杜のアスレチック／ジップライン

○擁壁が整備される区間については、以下の活用が考えられます。

ボルダリング／ペインティングなどアート／スケートボード／プロジェクションスクリーン



出典：スポル ホームページ



出典：東京オリンピック・パラリンピック ホームページ

Column

海と緑を感じるマラソンコースとしての掛川潮騒の杜の活用

島田市は、市内の中心を流れる大井川の河川敷にマラソンコース「リバティ」を整備しており、現在17.9kmの区間が完成しています。一定区間ごとにトイレや水飲み場、ベンチ等のステーションが配置されており、また一部の区間は足にやさしい舗装が整備されています。

河川敷のマラソンコースは全国初であり、マラソン・駅伝大会の開催のほか、ジョギングやウォーキングといった市民の健康づくりの場となっています。



出典：島田市観光協会ホームページ

Column

防潮堤を活用したイベント・スポーツ

プロジェクションマッピング

大船渡市三陸町では、長年続く「三陸港まつり」で、高さ約11.5mの大きな防潮堤をスクリーンとして活用したプロジェクションを開催しています。



出典：Sanriku Seawall Film Festival・Facebookページ

スポーツ広場

東静岡駅北口の「東静岡アート&スポーツ/ヒロバ」は、スケートボードやBMX、インラインスケートといったローラースポーツができる大規模なローラーパークです。室内でスポーツを楽しめるテントハウスや芝生、イベントスペースも整っています。

イベントやスクールの開催も行うほか、交通アクセスも良く、ローラースポーツを介した多くの人々の交流の場となっています。



出典：東静岡 アート&スポーツ/ヒロバ ホームページ



出典：東静岡 アート&スポーツ/ヒロバ ホームページ

4 日本のマリンスポーツのメッカへ

- ・掛川市の海は流れが速く、海水浴場としては適していないものの、SUP・サーフィン・ウィンドサーフィン等のマリンスポーツに適した波があります。また、菊川河口内は波が穏やかなことからマリンスポーツ初心者にも楽しむことができます。
- ・海岸線地域は、SUPの全国大会が開催されているほか、ビーチスポーツ公園は、東京2020オリンピックのビーチバレーボール競技の事前キャンプ予定地となっています。
- ・特に、菊川河口周辺は、大東マリーナ、海洋センター、ビーチスポーツ公園の施設が揃い、スポーツ後はシートピアにより温泉にも対応できることから、マリンスポーツのメッカとなりうる資源と価値を有しています。

- 日本SUP協会、掛川市体育協会、サーフボードショップ等と連携して、遠州灘全体をマリンスポーツのメッカとして売り出していきます。
- だれもが安全・安心にマリンスポーツを楽しめるよう魅力的なプログラムの充実と環境整備に取り組んでいきます。

シートピア周辺におけるマリンスポーツの現状と展望

- ・大東B&G海洋センター艇庫では、地元の小学生を中心に、カヌーやヨット、ローボート、SUP等のマリンスポーツを行うクラブ活動が行われています。また、毎年夏には「大東クリーンフェスティバル」が行われ、クリーン活動を通じた水辺の環境学習や、SUP、カヌーなどのマリンスポーツ体験会を通じた水辺の安全学習を行っています。



出典：Sports is Life 掛川 Facebookページ



- ・掛川市の海の良質な波を求めて、全国からサーファーが訪れます。大東温泉シートピア内の「Marin Active」では、SUP、サーフィン、ウィンドサーフィン、FAT BIKEのレンタルやレッスンを行っています。



出典：Marin Active ホームページ

マリンスポーツの全国大会の開催地

- ・大東総合運動場前の海岸では、SUPの大会が開催されており、全国のSUP愛好家が集まります。また大会中にはフォトコンテストも行われます。
- ・SUPだけでなく、過去にはウィンドサーフィンの大会も行われました。



スターボードジャパン株式会社との包括連携協定の締結

- ・掛川市では、スターボードジャパン株式会社と包括連携協定を締結しています。

【協定項目】

- ①掛川の魅力再発信 ②掛川の郷土愛を喚起 ③生涯スポーツ人口の増加
- ④掛川市への移住を促進 ⑤掛川市中心部から南部沿岸へ地域交流につなげる



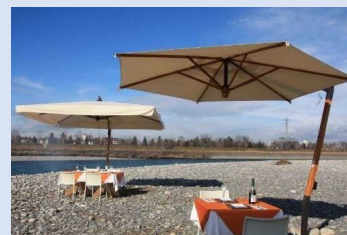
Column

愛知県豊田市とスノーピークによる自然資源を活かした観光振興

愛知県豊田市は、2017年に株式会社スノーピークと「協働によるまちづくりのパートナーシップ協定」を締結し、豊田市がもつ豊かな自然と、スノーピークが培ってきたアウトドアの知見を活かして、「矢作川水辺プロジェクト」などの観光振興事業に連携して取り組んでいます。

株式会社スノーピーク：アウトドア製品やの開発・製造・販売のほか、キャンプ場やグランピングなどのアウトドアイベントで地方創生コンサルティングを行う会社。

【事例】河原で上質なレストラン



出典：株式会社スノーピーク
ホームページ

5 多彩なスポーツ施設のリニューアルと有効活用

- ・大東総合運動場は、南部地域のスポーツ振興の拠点で、ナイター設備のある野球場やテニスコート、50mプールなどがあり、夏には合宿利用者が2,500人程訪れるなど、観光・宿泊などの経済波及効果も大きくなっています。
- ・大東ビーチスポーツ公園は、県内にも数が少なく、ビーチバレーであれば6面が確保できる規模を有しているため、これまで様々な大会で活用されてきています。
- ・大東プールや大東ビーチスポーツ公園の一部は、防潮堤建設工事の影響を受けるため、今後、他のスポーツ施設のあり方を含めて検討が必要となります。



充実したスポーツ施設となっている大東総合運動場



県内にも数が少なく様々な大会で活用されている大東ビーチスポーツ公園

- 公共施設マネジメント、スポーツや地域振興、健康増進などの総合的な観点により、多彩なスポーツ施設のリニューアルを進めていきます。
- スポーツ施設だけでなく、シートピアやオートキャンプ場など周辺施設と合わせ、民間活力の導入も検討しながら一体的な整備や活用を検討していきます。

3 海岸線で働き、生み出す

《地域特性を活かしたエネルギー・産業・農業の振興》

1 太陽光・風力などの再生可能エネルギーの利活用の促進

- ・掛川市の年間の日照時間は2,030時間と、全国的に平均的な東京の日照時間1,847時間と比べて長くなっています。また、積雪もほとんどないことから、太陽光発電に適した地域となっており、多くの太陽光発電所が立地しています。
- ・また、海岸線地域では、冬を中心に風が強く、周辺に居住地が少ないなど風力発電の立地可能地が多いことから、風力発電所の立地が進んでいます。
- ・さらに、近隣に浜岡原子力発電所が立地していることから、送電網も充実しています。



潮騒橋付近の風力発電所

- 海岸線地域の自然環境に配慮しつつ、温室効果ガスの削減という大局的な見地から、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの利活用を進めていきます。



海岸線地域に立ち並ぶ風力発電所



海岸線地域の太陽光発電所

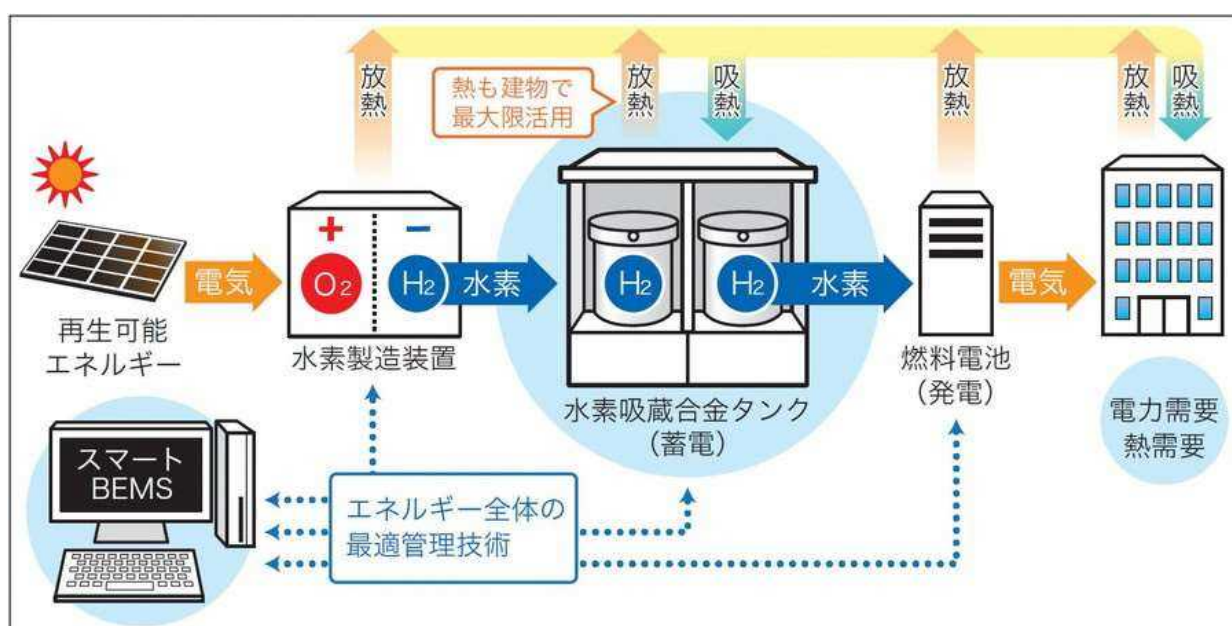


市内最大の太陽光発電所である掛川大淵・沖之須太陽光発電所

水素マネジメントの推進

- 再生可能エネルギー固定価格買取制度によって、太陽光発電や風力発電などの導入が進みましたが、今後、買取期限が順次終了していくため、再生可能エネルギーで発電した電気の有効活用が求められます。
- 貯蔵が難しい電気を有効に活用していくため、国や民間企業において水素製造・輸送・貯蔵・利用ができるシステムの検討が進められています。

- 2050年脱炭素社会構築を見据え、新たなエネルギー水素に注目し、再生可能エネルギーを利用した水素製造について、技術を有する民間企業と連携して研究していきます。



出典：清水建設株式会社ホームページ



出典：再エネ余剰電力を用いた街区における水素マネジメント技術の開発（清水建設株式会社）

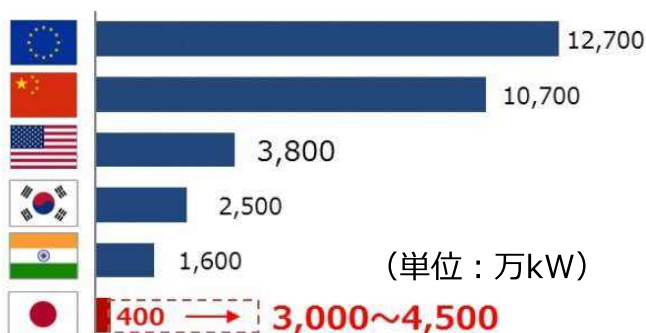
拡大が期待される洋上風力発電

国は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする脱炭素目標を掲げています。洋上風力発電は、今後、大量導入、コスト低減、経済波及効果が見込まれ、再生可能エネルギーの主力電源化に向けた切り札とされます。

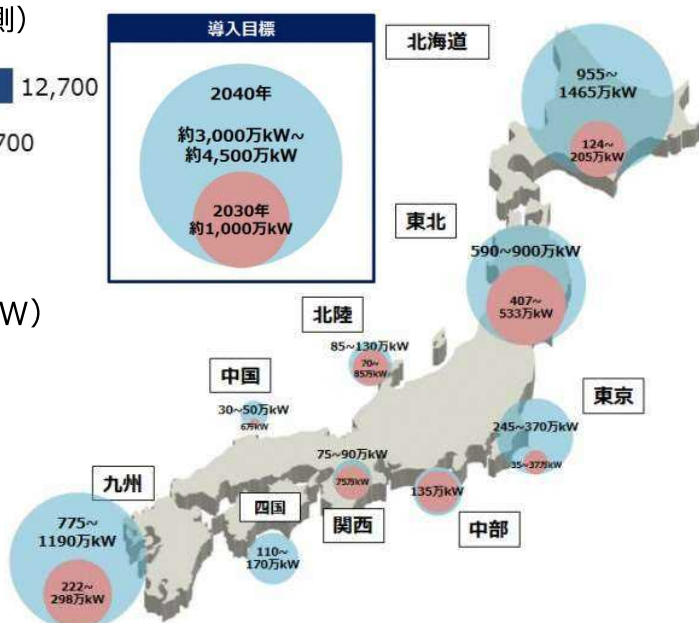
国は、洋上風力産業ビジョンにおいて、2040年の洋上風力発電の発電能力を3,000万～4,500万kWとする目標を定めました。

2040年洋上風力発電の導入予測

(I E Aの各国政府目標を踏まえた導入予測)



洋上風力発電の全国目標と地域別目安



掛川市海岸線付近で検討されている洋上風力発電

【計画概要】

対象エリア：静岡県 掛川市沖海域

想定規模：42万kW程度

風車単機容量：0.8～1.2万kW/基を想定

※1.2万kW/基の場合 35基程度

※0.8万kW/基の場合 53基程度設置

設置水深：水深 約10～50m 程度を想定

【本エリアが選定された理由】

- 極めて良好な風況：7.5m/s以上*
*NEDO (洋上風況マップ 100mH)
- 系統の確保が期待できる

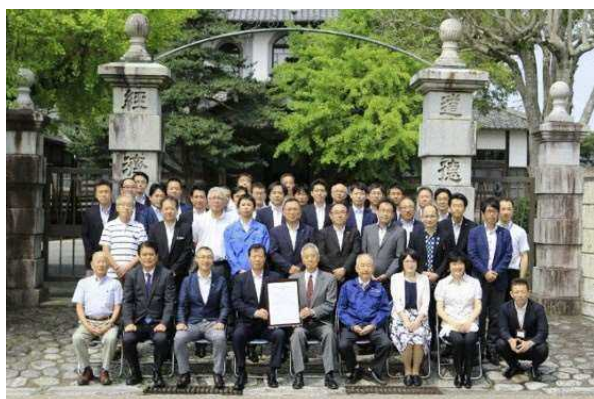


出典：日本風力開発株式会社

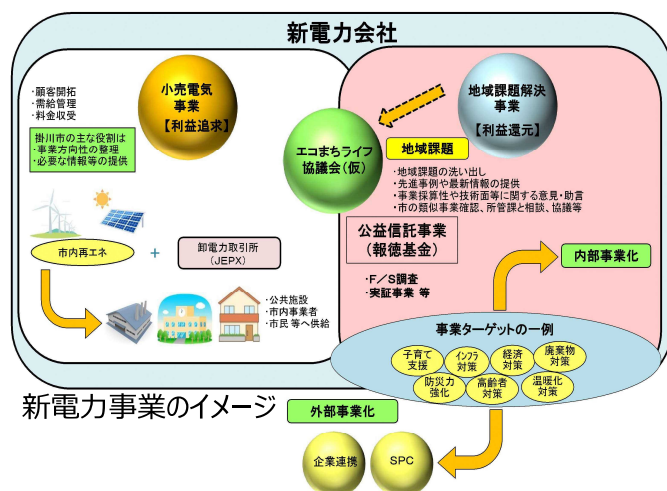
2 地域循環共生圏における再生可能エネルギーの供給拠点化

- ・掛川市では、令和元年に、電力会社、ガス会社、金融機関など22団体が参画する「かけがわ地域循環・活性化協議会」を立ち上げました。地域内の資源・資金などの地産地消、地域内循環による温室効果ガス排出量削減や地域経済を活性化させる「地域新電力」設立に向け準備を進め、令和2年7月に『かけがわ報徳パワー株式会社』を設立しました。
- ・地域新電力事業は再生可能エネルギーの普及や省エネルギー・省資源を促進し、エネルギー資源の地産地消と地域内経済循環とスマートシティ構築事業の展開により、脱炭素社会の実現と地域循環共生圏の確立を目指しています。
- ・掛川市が目指す「地域新電力」は、ドイツのシュタットベルケが模範であり、売電による利益を公益事業として還元することを目的としています。
- ・海岸線地域は、未来の再生可能エネルギーによる発電の供給地として重要な役割が期待されています。

- 地域新電力事業の取組みを推進するなかで、海岸線地域の風力や太陽光などの再生可能エネルギー施設を重要な供給拠点として活用していきます。



かけがわ地域循環・活性化協議会の設立



3 将来を担う産業集積エリアの継続と発展

- ・国道150号は4車線化が進み、海岸線地域は重要港湾である御前崎港と製造業の集積地である県西部を結ぶ地域として産業の重要な拠点となっています。
- ・海岸線地域には、多くの事業所が集積しており、国道150号以南には40社以上もの企業が立地しています。立地企業の業種は、輸送用機械、化学・医薬品、物流など多岐にわたります。
- ・エネルギー供給においても、南遠州パイプラインによる天然ガス供給が行われているほか、風力や太陽光発電施設の立地が進み、将来的には安価なエネルギーの供給が行われる可能性があります。



- これまで海岸線地域の産業を支えてきている企業の操業環境や雇用確保の支援を行うとともに、将来を担う多種多様な企業の誘致を進めていきます。
- 陸上養殖、水素関連など注目される新たな産業の立地を促進していきます。



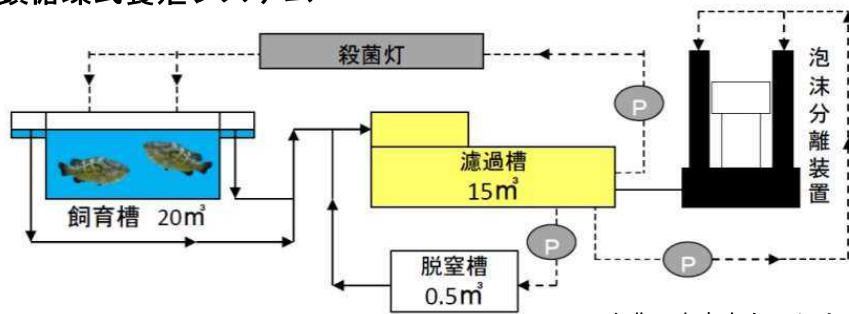
研究や事業化が加速している「陸上養殖」

世界の人口が増加し、中長期的に経済も成長している中で、魚消費量が増え続けています。天然漁獲量は、資源保護の点から制限があり、養殖事業によって、魚消費量の増加は支えられています。

養殖事業は、大きく海面養殖と陸上養殖に分けられます。海面養殖の適地は限定されており、陸上養殖のニーズが高まっています。特に近年は、ろ過技術の進歩によって、気象条件や病気などの外部環境の影響を受けにくい、持続可能な「閉鎖循環式養殖」が増えており、将来の魚需要の増加への切り札とされています。

- 世界の魚消費量の養殖比率は、1980年の9%から2010年は46%に伸張
- 海面養殖の適地は限られ、陸上養殖のニーズが高まる
- ろ過技術の進展によって、閉鎖循環式養殖が増えている

一般的な閉鎖循環式養殖システム



Column

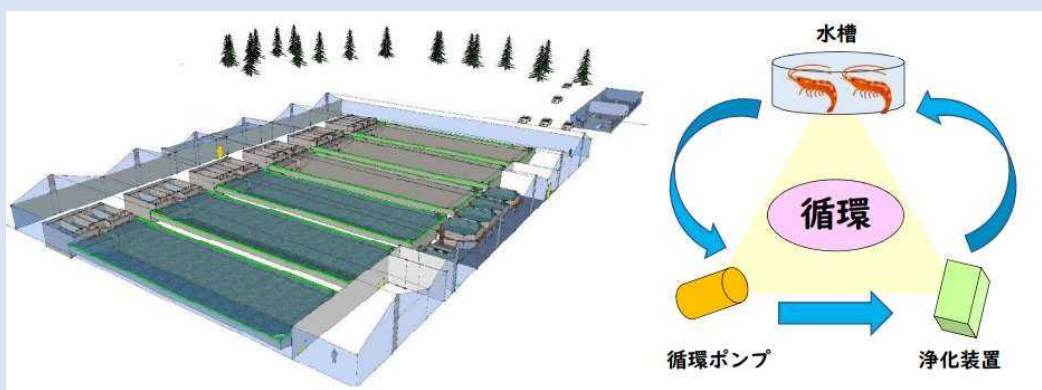
県内各地の「陸上養殖事業」の取組

磐田市の竜洋地区では、令和3年度の施設完成を目指し、新たな領域への事業展開を目指す関西電力と、日本で初めて国産バナメイエビの生産に成功した陸上養殖プラント会社IMTエンジニアリング(株)が、新会社を設立し、エビの陸上養殖施設を建設することとなっています。

浜松市では、金子コード(株)によりチョウザメの養殖・キャビアの生産が行われ、「HALキャビア」のブランド名で、高級レストランやホテルなどに販売が行われているほか、新清掃工場の余熱エネルギーを活用した計画も進んでいます。また、アワビの養殖についても、「NPO法人がんばらまいか佐久間」が取り組んでおり、生産体制や流通ルートの確保など、事業化に向けた取組が進められています。

掛川市においても、(株)ダイソー水産がすっぽんの養殖を行っており、高級・健康食材として全国へ出荷されています。

磐田市の陸上養殖施設イメージ



出典：磐田市ホームページ

4 地域特性を活かした農業振興

- ・掛川市では、年間平均気温16℃前後、年間降水量2,200mm前後と温暖で日照率が高く、恵まれた自然条件のもと、北部の茶、南部の大規模水田、砂地を利用した露地野菜、施設園芸等、地域特性を生かした多彩な農業が営まれています。
- ・国道150号線以南の東西約10キロの砂地では、水はけのよい特性を生かした人参(ハニーキャロット)、サツマイモ、スイカ、麦、大豆を栽培しています。
- ・生産して売るだけでなく、干し芋など加工することで付加価値を付与し、収益性を高めています。また、いちご摘みやオーナー制度などの農業体験を通して、継続的なコト消費にも結びつけています。

● 農業の多面性を生かした6次産業化、グリーンツーリズムなど、コト消費の選択肢として提供し、都市と農村との交流や、海岸線に広がる多様な施設と連携することで新しいビジネス展開などに繋げていきます。

● ロボットやAI、IoTなど先端技術を活用する「スマート農業」を推進し、さらに収益性を高めていくとともに、農業の魅力化も進めます。



付加価値を高める農産物



農業体験を通し食育と地元愛を育む



I C Tにより生産効率を高める施設園芸



代表的な施設園芸(イチゴ)

5 多様なライフスタイルの実現に貢献する海岸線地域

- ・コロナ禍によって、地方への移住の問い合わせ数が増加傾向にあったり、特に20歳代、30歳代で地方移住への関心が高まっています。
- ・掛川市は、市中央部に小笠山丘陵、市南部に遠州灘に面した砂浜海岸が広がる、起伏に富んだ自然の多いまちです。また、新幹線掛川駅や東名ICなど交通アクセスが良く、ほどよく田舎、ほどよく都会のバランスがとれており、「二地域居住」などの多様なライフスタイルのモデル地域となりえます。
- ・海岸線地域は、様々な地域資源により、マリンレジャーなどの特別なレジャーを楽しむことができ、余暇を充実できる要素が詰まっています。さらに、地域に対して熱心で、魅力あるヒトも多く存在します。

- 近年の社会情勢を踏まえ、二地域居住、ワーケーションなど新しいライフスタイルを提案し、海岸線地域がその拠点となることを目指します。
- 海岸線地域をはじめとする掛川市や暮らしの魅力発信により、移住・定住を推進します。
- 魅力あるヒトを増やすことによる交流人口、関係人口の拡大を目指します。

Column

海岸地域×ワーケーション。海岸地域における新たな働き方

「Workation（ワーケーション）」とは、「Work（仕事）」と「Vacation（休暇）」を組合わせた造語で、環境の良い場所で、休暇を兼ねてテレワークを行うことをいいます。

和歌山県白浜町では、平成28年11月に、海岸を見下ろす眺望の良い「南紀白浜サテライトオフィス（白浜センター）」を平成30年6月に「白浜町 I Tビジネスオフィス」を構えています。計13社の企業が町運営のオフィスに入居し、およそ30人の方が働くなど、効果がみられています。



写真出典：白浜町



写真出典：総務省



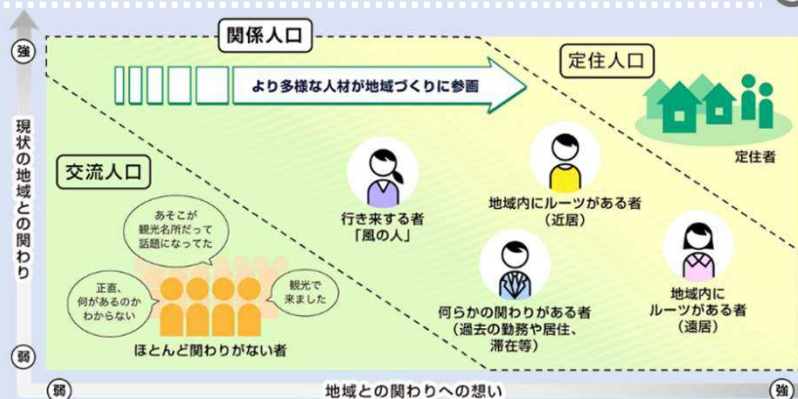
写真出典：総務省

Column

関係人口とは。海岸線地域に関わりのある担い手づくり

「関係人口」とは、「定住人口」でもなく、観光に来た「交流人口」でもない、地域と多様に関わる人々を指す言葉です。

海岸線地域にルーツがある方、何らかの関わりのある方も含め、海岸線地域を盛り上げる取組みが大切です。



図出典：総務省（関係人口ポータルサイト）

- ・掛川市では**海岸線地域のみならず、市全域を対象に、様々な移住定住策を展開**しています。
- ・移住の相談としては、市や県の相談窓口、県内外で開催される移住フェア等で移住定住希望者に案内を行っています。昨年度からは、東京へ市職員が出向き、移住希望者に掛川の情報を紹介する「掛川DAY」を開催し、実際の移住にも繋がっています。また、今年度は、「**オンライン移住相談**」を実施し、**全国から相談できる体制**が整いました。

- ・情報発信としては、移住定住専用のウェブサイトやシティプロモーション動画、パンフレットの作成、SNS等による魅力発信を行っています。その中で、シティプロモーションサイト「掛川物語」を開設していますが、ここでは『あなたの夢、描いたつづきは掛川で。』というブランドメッセージのもと、人の心を動かす「物語」を発信し、市や市民の暮らしぶりの魅力を伝えています。

■ シティプロモーションサイト「掛川物語」



- ・そのほか、住宅取得や就業・就農支援、子育て支援など、様々な支援事業を庁内各課や関係団体と連携して実施しています。
- ・**コロナ禍により、大都市から地方への移住が活発化し、掛川市全体での移住促進に向けた活動の必要性が高まっている**ことから、受け皿作りのために庁内連絡会をはじめ、2020年10月には「移住者座談会」を通じて、移住者のニーズ把握を行っています。また、2020年12月には、外部の関係機関を交えた「掛川市移住促進協議会」を発足し、ポストコロナ社会において掛川市全体で取り組む移住定住施策を検討し、掛川への移住定住の促進に繋げていくこととしています。

《互産互消の取組み》

- ・「地産地消」を基軸に、気候や地勢、風土の違いから、互いの地にはないモノ・コトを認め合い、求め合い、生かし合う地域間交流として『互産互消』の取組みも進めています。
- ・地域間のモノ・コト・ヒトの交流を拡大し、地域経済を新しい次元で活性化するため、【食】フードの交換を皮切りに、互いの地域の魅力を通して人が行き交う【旅】ツーリズムの交歓へ、さらに互いの気候と風土で人が暮らし合う【生活】ライフスタイルの交歓の活動をもひろげ、しあわせな生活を楽しむまち掛川市としてさらなる魅力づくりに取り組んでいます。



子どもへの環境教育を通じてサーフィンの聖地へ

石原さんは、自身もプロのサーファーとして活躍しながら、遠浅な遠州灘と菊川から供給される砂、海岸線と並行に吹く風により国浜海岸付近に良質なサーフ（波）があることを全国に発信。菊川河口では初心者から、上級者まで、様々なサーファーが楽しめる環境であり、北海道から沖縄まで全国から、波を求めサーファーが集う。

「Ripper X-SPORTS」では、多様なマリンスポーツのアクティビティを通じて、海の危険性や環境の尊さを学習する機会を提供。小さい頃から自然に触れることで病気に負けない身体づくりとともに、地元の魅力を体感し思い出を作ることで、大人になってから、この地に愛着を感じ戻ってくる、と石原さんは語る。



石原智央さん

(特非) 日本ウインドサーフィン
協会理事長
Ripper X-SPORTS代表
(掛川市国安2808-2号ビル7F内)



赤堀和博さん

赤ずきんちゃんのおもしろ農園代表
(掛川市大淵1456-320)

いちごだけでなく、様々な魅力を創造

「赤ずきんちゃんのおもしろ農園」では、全国随一の栽培面積の強みを生かし、お客様が訪れた時に一番美味しい完熟いちごが味わえるよう栽培時期を管理している。主力のいちごをはじめ、サツマイモやメロン、スイカの農業体験のほか、バンパイアナイト(夜のいちご摘み)など趣向をこらした体験を提供。赤堀さんの気さくな人柄も相まって、全国のテレビなどにも多数出演。

海をこよなく愛し、サーフィンや写真撮影をフィールドワークとする一方、この地域の魅力を多くの人に伝え、楽しんでもらうためには、親子で楽しめる環境づくりが必要、と赤堀さんは語る。現在、環境づくりに向けて検討中だそう。

若者が自由に活躍できるまちに

海に近い食事処として、地元でとれた食材を中心に旬の味覚にこだわり食材を提供する「大松」の店主、牧野さん。海岸線地域を含め、掛川市に訪れた多くの人にまた来たい、素晴らしい場所、と感じてもらうために、観光協会支部長としても、日夜奮闘。市外、県外から訪れた人たちの地元の顔として活躍している。

県外のサーファーなどもお店を利用していたことから、自然と相談に乗るようになりSUPの全国大会誘致に一役買っている。地元のハニーキャロットやタマネギを利用した「大東コロッケ」を開発し、マリンスポーツ大会や音楽合宿などで訪れた人たちに振る舞い、好評となっている。

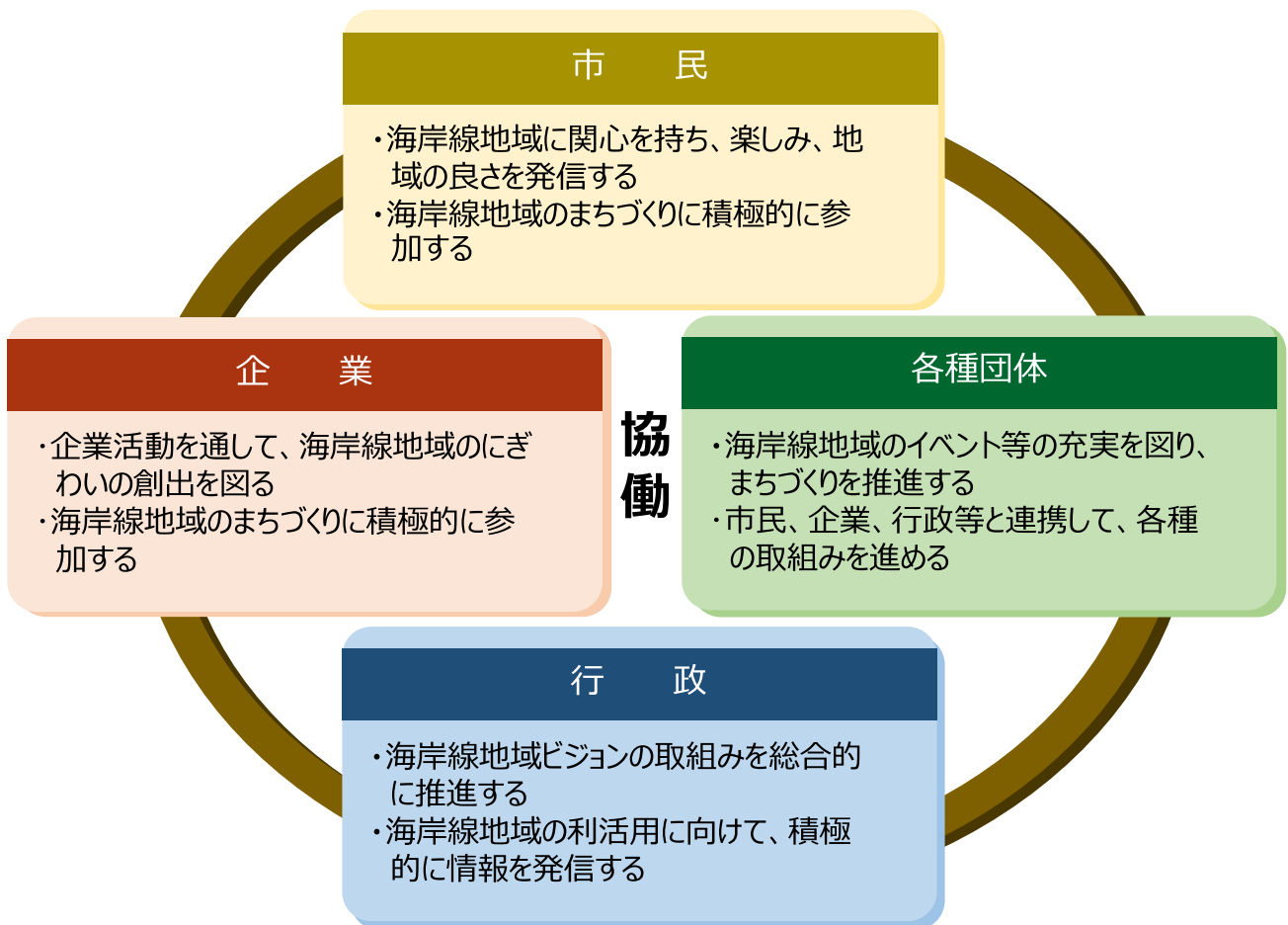


牧野勝彦さん

掛川市観光協会大東支部長
和食処 大松
(掛川市千浜5627)

ビジョンの取組みの推進に向けて

- ・海岸線地域ビジョンの取組みを推進していくためには、掛川市だけでなく、市民、企業や各種団体の連携・協働が必要不可欠となります。
- ・各主体が次の役割を認識して、連携・協働することで海岸線地域ビジョンの取組みを推進していきます。
- ・掛川市としても、まちづくりを行う市民・企業等の側面支援、環境整備をするため、取組みにあわせて土地利用計画の見直しなどを行っていきます。



将来像の実現

広大な海浜と潮騒の杜に抱かれた
「希望と活力にあふれる
新産業レクリエーションエリア」

4 資料

20年後の未来を担う子どもたちのアイデア

・ビジョンを策定するにあたり、掛川市立大浜中学校及び大須賀中学校の2年生を対象として、海岸線の魅力や今後の活用方法についてアンケートを行いました。

以下に回答の一部を紹介します。



◇ ◇ ◇ アンケート結果 ◇ ◇ ◇

Q1 海岸線地域の魅力（良いところ、自慢したいところ、残したいこと）を教えてください。

| | |
|------------|---|
| 回答 (抜粋) | 大きな砂丘、潮騒橋、多彩なスポーツ施設。 |
| | 砂浜へ行ったあと、寒くなったり、ベタついたりしたら温泉にすぐいけること。 |
| | シートピアがある。夕日がきれい、朝日がきれい。 |
| | 釣りやサーフィンを楽しむことができる。 |
| | 学校から綺麗な海が見える。 |
| | 海があることを活用して潮騒橋や自転車道があること。 |
| | 道や砂浜に落ちているゴミを拾ってくれる人いること。みんながあいさつをしてくれるところ。 地域の伝統が根付いており、それが地域で守られていること。 |

Q2 海岸線で進められている「掛川潮騒の杜」の整備は、完成後は想定しうる最大クラスの津波を防ぎ、将来的には市民がいきい楽しむ森林ともなります。この森林を使ってどんなことがしたいですか。

| | |
|------------|---|
| 回答 (抜粋) | キャンプ、アスレチック、木を使ったものづくり工房。 |
| | ジップラインを作って、遊べる場所。 |
| | アスレチックを作り、簡単なコース、難しいコースを作り、子どもから大人まで楽しめる森林を作って欲しい。 |
| | ハンモックを作りたい。 |
| | ツリーハウスがしてみたい。 |
| | 木がたくさんあるから、それで迷路を作ったりすれば、小さい子供達が来てくれると思う。 |
| | 森林にはたくさんの虫や鳥が来ると思うので、虫とりや森林の鑑賞。 |
| | 釣り人の休憩の場を作る。 小さな子どもたちなど、人とのコミュニケーションをとることができる公園、広場があると嬉しい。 |

Q3 20年後を見据えて、海岸線地域のにぎわいが創出できる実現可能性の高いアイデアを教えてください。

| | |
|------------|---|
| 回答 (抜粋) | 砂浜のゴミを拾って綺麗にし、行きたいと思ってもらえる海、砂浜にすること。 |
| | 水上アスレチック、海水浴場を作ればもっと人が来ると思う。 |
| | 数十メートルのすごい高い堤防を作って市民みんなで絵を描き、すごいアートを作りたい。 |
| | もう少し、お店を増やした方が良い。 |
| | 海が見られるカフェを作ったら良いと思う。 |
| | 地場の海産物、農産物を扱う市場のようなものを作ると良いと思う。 |
| | 様々なイベントをもっと増やしていく。 |
| | 子ども達が遊べる場所を増やし、ここにしかない食べ物や建物をつくる。 |

掛川市海岸線地域ビジョン策定経過

| 年 月 日 | 内 容 |
|--------------|--|
| 令和元年 | |
| 10月2日 | 令和元年度 第1回掛川市海岸線地域ビジョン庁内検討会 海岸線地域の地域資源について確認。 |
| 12月19日 | 令和元年度 第2回掛川市海岸線地域ビジョン庁内検討会 海岸線地域の地域資源の方向性、課題等について協議し、ビジョンの方向性を探る。 |
| 12月24日 | 現地調査 海岸線地域の地域資源について確認。 |
| 令和2年 | |
| 2月14日 | U40KAKEGAWAミーティング現地視察&ヒアリング U40メンバーと副市長で現地視察。海岸線地域の魅力を確認、再発見。活性化のアイデア等の意見交換を実施。 |
| 8月5日 | 地域資源、魅力、可能性ヒアリング依頼 睦浜、千浜、大須賀第3、大淵地区の区長会長、まちづくり協議会会長へ依頼 |
| 9月7日 ～12日 | 睦浜、千浜、大須賀第3、大淵地区ヒアリング 海岸線地域にある地区まちづくり協議会及び地区区長会役員に、地域の資源や魅力、将来の可能性などを伺った。 |
| 9月24日 | 先進事例視察（リバーポートパーク美濃加茂） 美濃加茂市の木曾川にあるリバーポートパークを視察。川の危険性や遊び文化などを、アクティビティを通じて子ども達に伝えている。 |
| 10月1日 | 現地調査及びキーパーソンヒアリング 海岸線地域を中心に活動するキーパーソンからヒアリング。 |
| 10月13日 | 令和2年度 第1回掛川市海岸線地域ビジョン庁内検討会 海岸線ビジョンの素案について協議。 |
| 10月15日 | 先進事例視察（三重県アクアイグニス視察） 温泉、いちご狩り、宿泊施設等の複合施設として成功し、年間約100万人が訪問している先進事例を視察。 |
| 10月26日 | 企業、観光農園、観光協会大東支部長ヒアリング 地元の魅力や活用、展望などを伺った。 |
| 10月28日 | 企業、観光農園ヒアリング 同上 |
| 11月5日 | 中学2年生アンケート実施 大浜中、大須賀中2年生計180名アンケート |
| 11月26日 | 令和2年度 第2回掛川市海岸線地域ビジョン庁内検討会 海岸線ビジョンについて協議。 |
| 12月23日 | 庁議 |
| 令和3年 | |
| 1月21日 | 市議会全員協議会 |
| 1月22日 | パブリックコメント実施 |
| ～2月21日 | |
| 3月 | 掛川市海岸線地域ビジョン 完成 |

令和元年度

| | 所属 | 氏名 | 関連事項 |
|---|-------------|--------|------------|
| 1 | 企画政策課長 | 平松 克純 | 公共施設マネジメント |
| 2 | 参与 兼 観光CP課長 | 岡田 美穂 | 観光振興、シートピア |
| 3 | スポーツ振興課長 | 杉村 正之 | 大東総合運動公園等 |
| 4 | 都市政策課長 | 森長 亨 | 都市計画 |
| 5 | 土木課参事 | 赤堀 順通 | 海岸防災林整備 |
| 6 | 維持管理課長 | 竹嶋 快充 | 潮騒の杜等 |
| 7 | 南部行政事務局長 | 佐藤 正弘 | 地域振興 |
| | 市長政策室長 | 牧野 明 | 事務局 |
| | 市長政策室 | 陸田 真宏 | 事務局 |
| | 市長政策室 | 宇賀神 元毅 | 事務局 |

令和2年度

| | 所属 | 氏名 | 関連事項 |
|----|-------------|--------|------------------|
| 1 | 企画政策部長 | 山本 博史 | 全体 |
| 2 | 企画政策課長 | 沢崎 知加子 | 総合計画、公共施設マネジメント |
| 3 | 生涯学習協働推進課長 | 道田 佳浩 | 協働のまちづくり |
| 4 | 文化・スポーツ振興課長 | 中山 善文 | 大東総合運動公園等、スポーツ振興 |
| 5 | 環境政策課長 | 本多 弘典 | 再生可能エネルギー等 |
| 6 | 参与 兼 観光CP課長 | 岡田 美穂 | 観光振興、シートピア |
| 7 | 農林課長 | 高柳 和正 | 農業振興 |
| 8 | 産業労働政策課長 | 溝口 尚美 | 産業振興 |
| 9 | 都市政策課長 | 森長 亨 | 都市計画 |
| 10 | 基盤整備課長 | 牧野 明 | 海岸防災林整備 |
| 11 | 維持管理課長 | 竹嶋 快充 | 潮騒の杜、マリーナ等 |
| 12 | 南部行政事務局長 | 佐藤 正弘 | 地域振興 |
| 13 | 大須賀支所長 | 高塚 雅子 | 地域振興 |
| | 市長政策室長 | 山田 京子 | 事務局 |
| | 市長政策室 | 陸田 真宏 | 事務局 |
| | 市長政策室 | 宇賀神 元毅 | 事務局 |



令和3年3月 掛川市海岸線地域ビジョン

掛川市 企画政策部 市長政策室
〒436-8650 静岡県掛川市長谷一丁目1番地の1
TEL : 0537-21-1224